



(社) 鹿児島県放射線技師会

会報

平成22年10月

第112号



社団法人 **鹿児島県放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11
TEL 099-248-0028
FAX 099-248-0028

目 次

巻 頭 言	鹿児島県放射線技師会の新公益法人移行の必要性について (社)鹿児島県放射線技師会 会 長 池 田 睦	1
緊急連絡	平成23年1月の臨時総会の延期	4
社団法人	鹿児島県放射線技師会定款	5
お 知 ら せ	市民健康まつりのご案内	11
	鹿児島県技師会秋季学術大会開催のお知らせ	11
理事会議事録	平成22年度 第1回 理事会議事録	12
	平成22年度 第2回 理事会議事録	15
	平成22年度 第3回 理事会議事録	17
支 部 長 会 議	平成22年度 第1回支部長会議	19
	平成22年度 第2回支部長会議	22
総 会 議 事 録	第86回通常総会議事録	25
	第87回通常総会議事録	31
	第86回通常総会 会場出席者	37
	第87回通常総会 会場出席者	38
平成22年度事業計画		39
平成22年度 収支予算書		42
報 告	第87回通常総会報告 平成21年度事業総括	46
	平成21年度活動報告	48
	平成21年度 収支計算書総括表	51
	平成21年度 収支計算書	52
平成21年度監査報告書		64
学 術	平成21年度鹿児島県放射線技師会春季学術大会	65
	心臓カテーテル検査の防護衝立作成の使用経験	66
	骨セメント椎体形成術とI V Rサポートの紹介	69
	胃サルコイドーシスの一例	72
	深部静脈血栓症におけるC T撮影法の検討	75
	89Sr 治療の使用経験～当院での治療準備から開始まで～	76
	PACSにおける容量予測と実際の比較検討	79
第87回 総会	特別講演	83
河野正人先生	叙勲祝賀会	87
会 計 だ よ り		90
編 集 後 記		91
理 事 ・ 監 事 名 簿		92
(社)鹿児島県放射線技師会準会員名簿		93
広 告 掲 載 一 覧		94



鹿児島県放射線技師会の 新公益法人移行の必要性について

(社) 鹿児島県放射線技師会会長 池田 睦

巻頭言

昨年の7月に鹿児島県放射線技師会が新執行部になりました。その当時から事あるごとに新公益法人への移行について会員の皆様方にご案内をしてきました。新公益法人に鹿児島県放射線技師会がなぜ移行しなければならないのか、また、移行しなかったら鹿児島県放射線技師会はどうなるのか、その点について少し説明をしたいと思います。

法人格認定整備等に関する法律が施行される事が閣議決定され、改正前の民法第34条に基づき設立された民法法人(社団法人、財団法人)は新公益法人制度の平成20年12月1日をもって自動的に「特例民法法人」＝(特例社団法人、特例財団法人)となり、5年間(平成20年12月1日から平成25年11月30日まで)は存続する事が出来ます。

従って、現在の鹿児島県放射線技師会は「社団法人」ではなく、「特例社団法人」という特例措置の基に辛うじて「社団法人資格」でいる状態です。この事を会員の皆様はご承知置きください。

特例民法法人が新制度(新公益法人)への移行を希望する場合は、この5年間の移行期間中に、所用の申請書を行政庁に提出して、認可を受ける必要があります。

既存の法人は平成25年11月末日までに「一般社団(財団)法人」への移行認化手続き(法人法)するか、または、「公益社団(財団)法人」への移行認定手続き(認定法)を行う必要があります。

平成25年11月までに、以上のどちらへの手続きもしなかった、もしくは認化(一般社団法人)も認定(公益社団法人)も貰えなかった既存の団体は解散となり、鹿児島県放射線技師会は消滅する事になります。これだけは絶対に避けなければなりません。

鹿児島県放射線技師会が「一般社団法人」に移行するか「公益社団法人」に移行するか決めなければなりません。九州各県の技師会でも「公益社団法人」を目指す技師会と「一般社団法人」を目指す技師会は半々です。なぜなら、公益比率が関係しており、まずは「一般社団法人」にしておいて、その後、「公益社団法人」に格上げしようというものです。

また、「一般社団法人」の場合は、今までの「旧社団法人」の時代の財産を数年かかって減らしていく必要があります。これは、流動資産(現金、預貯金等)、固定資産等の財産を「一般社団法人」ではストックしておけないという決まりがあるそうです。そういう意味でも「公益社団法人」資格を取得する必要があります。

「公益社団法人」はより公益性の高い事業が必要とされ、年度ごとの事業の中の公益比率を50%以上公益事業に費やさないとはいけません。公益社団法人資格を取得する事は、かなり厳しいハードルではありますが、どのような団体でもなりうる「一般社団法人」と比べて、社会的な地位や価値は「公益社団法人」に勝る物はありません。また、「公益社団法人」は税制上の優遇策が「一般社団法人」と比べて有利だと言われております。

手続きとしては同じようなものですので、鹿児島県放射線技師会は最初から「公益社団

法人」を目指します。

特例民法法人が新制度の公益法人に移行するには、次の要件を満たしている必要があります。

1. 定款の変更

定款変更の案の内容が法人法及び認定法並びにこれらに基づく新公益法人の規定に適合するものであること。

2. 認定法の認定基準

①公益目的事業を行う事を主たる目的とすること。

②公益目的事業を行うのに必要な経理的基礎及び技術的能力を有する事。

等など20項目以上の規定があります。これらのすべてを満たしている必要があります。

鹿児島県放射線技師会が新公益法人格を取得するためには、大きな壁があります。

それは、現在の鹿児島県放射線技師会の定款の変更です。

鹿児島県放射線技師会定款を資料として示します。

現在の定款においては、第33条に定款の変更は総正会員の4分の3以上の同意を得なければ変更できないようになっています。そして、その同意は書面評決を認めない(第25条2項)と書いてあります。委任状の採決では定款の変更は出来ないという事です。

従って、定款を変更する場合には会員の皆様の総会での同意が必要になってきます。

そのためにWEB会議という構想を立てました。これは鹿児島県の医務課の了承を受けております。

各支部ごとにWEB通信ができる施設を用意し、双方向によるテレビ総会を開催します。その中で総正会員が各支部の総会に実際に出席してもらい、4分の3以上の同意を得る必要があります。

現在、鹿児島県の技師会会員は450名程度です。その4分の3となりますと約340名以上の方の出席とその同意を得なければなりません。

支部長ならびに支部理事の方々、また、支部会員の協力が無ければ達成できない数字だと思います。

現在、鹿児島県の会員の中で複数年の会費未納の方が70名近くおられます。その方々は退会処理をされておらず、また連絡先も分からず、退会勧告もできない状態です。

この方々が鹿児島県放射線技師会の総正会員数に入っておりますと4分の3の人数の招集が困難となります。

したがって、鹿児島県放射線技師会の理事会において除籍規定を作成し、会費複数年未納の方々の除籍を決定いたしました。

先の総会において、除籍規定を会員の方々に了承してもらい、また、県のニュースにリストを掲載し、自らの退会、もしくは未納会費分を払ってもらおうべく案内を致しております。

除籍規定において2年度分の会費未納の方は2年度の当該年度末において除籍になります。また、2年度分以上の会費未納の方々は会費納入期限の9月以降を持ちまして自動的に除籍になります。

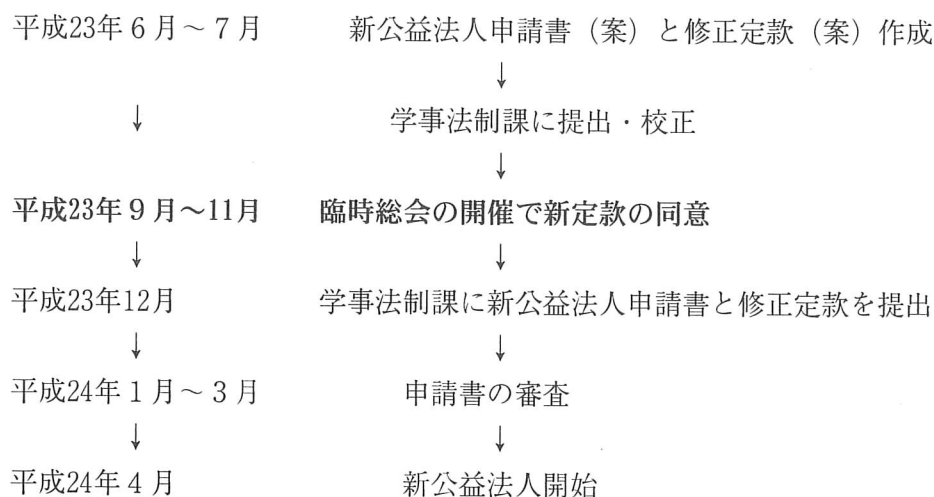
このようにして正会員数の絞込みを行い、定款改定の困難性を少しでもクリアーしようとしております。

現在、新公益法人に該当する新しい定款を作成して、定款改定のワーキンググループの中で検討しております。新しい定款が出来次第、県に諮問して新定款の了承を貰う予定ですが、定款の修正は、新公益法人申請書と同時に提出しなければならない事となりました。

従って、新公益法人申請書は平成23年度中に提出予定であるために、平成22年度の鹿児島県放射線技師会の決算書を基に作成しなければなりません。22年度の決算総会は平成23年6月であり、決算が終了しなければ申請書を作成する事が出来ません。

よって、新公益法人申請書（案）と修正定款（案）は平成23年7月までに作成し、鹿児島県庁学事法制課に提出します。2ヶ月間で申請書（案）と修正定款（案）を校正してもらい、その後、臨時総会を開催して会員の皆様の同意を得る事になります。また、年度途中の新公益法人への申請は申請書を2通準備しなければならないため面倒になり、理想的には平成23年12月に申請を行い、24年4月1日からの新公益法人の開始とした方が良いとのことです。

今後のスケジュール



今後、以上のようなスケジュールで新公益法人格取得に臨みたいと思います。

各支部長の方々は1月23日の臨時総会に向けて準備を進めていただき誠にありがとうございました。

今回の臨時総会は延期になりましたが、次の臨時総会までに各支部の会員方々の公益法人移行の意識をさらに高めるための努力をよろしくお願いいたします。

次の臨時総会開催予定としましては、鹿児島市で開催されます第6回の九州放射線医療技術学術大会が終了した平成23年11月下旬辺りになるかと思っております。

鹿児島県放射線技師会にとりまして、色々大変な事柄が山積みではありますが、我々、執行部一同並びに支部理事の方々は、通常業務の傍ら、努力をしております。

今後も、技師会活動によりしくご協力のほどお願い致します。

平成22年9月30日

鹿児島県放射線技師会
会員 各位

鹿児島県放射線技師会
会長 池田 睦

緊急連絡

平成23年1月の臨時総会の延期

平成23年1月23日に(日)に予定しておりました定款改定の臨時総会につきまして、新公益法人申請手続きの都合により延期いたします。

理由としまして、以下に記します。

鹿児島県放射線技師会の新公益法人移行のスケジュールとして、新公益法人申請を平成23年度中に行う予定であるために、現行の定款を平成22年度中に改定する事を予定しておりました。定款の改定が終了しなければ、新公益法人申請も前に進まないとの考えでした。そのために、平成23年1月23日の総会で会員の皆様に定款の改定を承認してもらい、平成23年度中に申請手続きを終る予定でした。

そこで、平成22年9月30日(木)に鹿児島県保健医療福祉課と面談し、新公益法人定款(案)の修正をお願いするとともに、申請に向けての各種申請書作成のヒアリングを行いました。

その中で、定款の修正は、新公益法人申請書と同時に提出しなければならない事となりました。

新公益法人申請書は平成23年度中に提出予定であるために、平成22年度の鹿児島県放射線技師会の決算書を基に作成しなければなりません。22年度の決算総会は平成23年6月であり、決算が終了しなければ申請書を作成する事が出来ません。

従って、新公益法人申請書(案)と修正定款(案)は平成23年7月までに作成し、鹿児島県庁学事法制課に提出します。2ヶ月間で申請書(案)と修正定款(案)を校正してもらい、その後、臨時総会を開催して会員の皆様の同意を得る事になります。また、年度途中の新公益法人への申請は申請書を2通準備しなければならないため面倒になり、理想的には平成23年12月に申請を行い、24年4月1日からの新公益法人の開始とした方が良いとのことです。

社団法人 鹿児島県放射線技師会定款

平成元年3月31日制定

平成11年3月31日改定

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、社団法人 鹿児島県放射線技師会という。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を鹿児島市東坂元四丁目28番11号に置く。

(目的)

第3条 この法人は、会員の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学及び診療放射線に関する技術の向上発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって県民保健の維持発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 地域住民への放射線に関する知識の普及に関する事業
- (2) 放射線の管理並びに放射性物質による汚染及び障害の防止についての調査研究に関する事業
- (3) 診療放射線学及び診療放射線技術の向上に関する事業
- (4) 地域住民の公衆衛生の普及向上に関する事業
- (5) その他目的を達成するために必要な事業
- (6) 会員の福利及び相互扶助に関する事業

第2章 会員

(会員の種類)

第5条 この法人の会員は、次の2種とする。

- (1) 正会員 県内に在住する診療放射線技師及び診療エックス線技師であって、この法人の目的に賛同して入会したもの
- (2) 準会員 県内に在住する診療放射線技師及び診療エックス線技師以外の個人又は団体であってこの法人の目的に賛同して入会したもの

(名誉会員)

第6条 本会の発展に顕著な功績があり、人格識見共に他の会員の模範となると認められる正会員に対しては、理事会の推薦に基づき総会の承認を得て名誉会員の称号を与えることができる。

2 名誉会員は、会務について諮問に応ずる責務を有する。

(会員の権限の制限)

第7条 準会員は、総会における議決権、選挙権及び被選挙権を有しない。

(入会)

第8条 本会に入会しようとする者は、所定の入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

(会費)

第9条 正会員及び準会員は、総会で定める会費をその年度当初に納入しなければならない。ただし、名誉会員の称号を与えられた正会員にあっては、この限りではない。

(退会)

第10条 会員は、退会しようとするときは、書面をもってその旨を会長に届け出なければならない。

2 会員が死亡し、又は解散したときは、退会したものとみなす。

3 正会員が、毎年度9月30日までに当該年度の会費を納入しないときは、勧告し、なお納入しないときは、理事会の議決をもって退会を勧告することができる。

4 前項の勧告に応じて退会した者が、未納の会費を退会后6月以内に納入したときは、理事会の議決により再入会させることができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するとき(名誉会員の称号を与えられた正会員にあっては、第1号に該当するとき)は、総会において総正会員の3分の2以上の同意を得て、その会員を除名することができる。

(1) この法人の名誉を著しくき損し、設立の趣旨に反し、又は秩序を乱す行為をしたとき。

(2) 前条第3項の退会勧告に応じないとき。

2 前項第1号の規程により会員を除名しようとするときは、その会員にあらかじめ通知するとともに、当該会員に除名の議決を行う総会において、弁明の機会を与えなければならない。

(会費等の不返還)

第12条 会員が既に納入した会費その他の拠出金品は、返還しない。

第3章 役員

(役員の種類及び選任)

第13条 この法人に次の役員を置く。

(1) 会長 1人

(2) 副会長 1人

(3) 理事 8人以上10人以内(会長及び副会長を含む。)

(4) 監事 2人

2 理事及び監事は、総会において選任する。

3 会長は、理事の互選により定める。

4 副会長は、理事の中から会長が指名する。

5 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(役員職務)

第14条 会長は、この法人を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐して会務を掌理するとともに、会長に事故があるときは、会長があらかじめ指定した順序によりその職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、会務の執行を決定する。
- 4 監事は、民法第59条の職務を行う。

(役員任期)

第15条 役員任期は、2年とする。ただし、補欠として選任された役員任期は前任者の残任期間とする。

- 2 役員は、再任されることができる。
- 3 役員は、辞任し、又は任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(役員解任)

第16条 役員に、役員としてふさわしくない行為があったときは、総会において総正会員の3分の2以上の同意により、これを解任することができる。

- 2 第11条第2項の規定は、前項の規定により役員を解任しようとする場合に準用する。この場合において、同条第2項「前項第1号」とあるのは「前項」と、「会員」とあるのは「役員」と、「除名」とあるのは「解任」と読み替えるものとする。

第4章 会議

(種別)

第17条 この法人の会議は、総会及び理事会の2種とし、総会は、通常総会及び臨時総会とする。

(構成)

第18条 総会は正会員をもって、理事会は理事をもって構成する。

(権能)

第19条 総会は、この定款に別に定めるもののほか、この法人の運営に関する重要な事項を議決する。

- 2 理事会は、この定款に別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。
 - (1) 総会の議決した事項の執行に関する事項
 - (2) 総会に付議すべき事項
 - (3) 総会から委任された事項
 - (4) その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(開催)

第20条 通常総会は、毎年3月及び6月に開催する。

- 2 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。
 - (1) 理事会が必要と認めたとき。
 - (2) 総正会員の3分の1以上から会議の目的を記載した書面により開催の請求があったとき。
 - (3) 監事が民法第59条第4号の規定により招集したとき。
- 3 理事会は、次に掲げる場合に開催する。
 - (1) 会長が必要と認めたとき。

(2) 理事の 3 分の 1 以上から会議の目的を示して開催の請求があったとき。

(招集)

第21条 会議は、前条第2項第3号の場合を除いて、会長が招集する。

2 会長は、前条第2項第2号の場合には請求の日から20日以内に、同条第3項第2号の場合には請求の日から15日以内に会議を招集しなければならない。

3 総会を招集するには、会議の目的たる事項、内容、日時及び場所を示した書面により、開会の日の10日前までに通知しなければならない。

(議長)

第22条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選任する。

2 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(定足数)

第23条 会議は、総会においては正会員の、理事会においては理事の過半数の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第24条 会議の議事は、この定款に別に定めるもののほか、出席した正会員又は理事の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(書面表決等)

第25条 やむを得ない理由のため会議に出席できない正会員又は理事は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、出席したものとみなす。

2 前項前段の規程にかかわらず、次の事項については書面表決を認めない。

(1) 定款の変更(第2条に係る変更を除く。)

(2) 会員の除名

(3) 役員解任

(4) この法人の解散

(5) 会長が重要と認めた事項

3 代理人による表決は、これを認めない。

(議事録)

第26条 会議の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 会議の日時及び場所

(2) 正会員又は理事の現在数

(3) 会議に出席した正会員の数又は理事の氏名(書面表決者を含む。)

(4) 議決事項

(5) 議事の経過の概要及びその結果

(6) 議事録署名人の選出に関する事項

2 議事録には、議長のほか、出席した正会員又は理事のうちからその会議において選出された議事録署名人2人以上が署名押印しなければならない。

第5章 顧問

(顧問)

第27条 この法人に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、総会の議決を得て会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長の諮問にこたえ、この法人の会議に出席して意見を述べることができる。ただし、表決に加わることはできない。

第6章 資産、事業計画等

(資産の構成)

第28条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財産目録に記載された財産
- (2) 会費
- (3) 寄附金品
- (4) 資産から生じる収入
- (5) その他の収入

(資産の管理)

第29条 資産は、会長が管理し、その方法は、会長が理事会の議決を得て定める。

(事業年度)

第30条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び予算)

第31条 この法人の事業計画及び予算は、会長が作成し、その事業年度開始前に総会の議決を得なければ成らない。

- 2 年度開始前に予算が成立しないときは、新たな予算が成立する日まで前年度の予算を執行するものとする。
- 3 前項の規定により予算を執行した場合における収支は、新たに成立した予算に基づいた収支とみなす。
- 4 会長は、第1項の事業計画又は予算を変更しようとするときは、総会の議決を得なければならない。ただし、軽微な変更については、この限りでない。

(事業報告、決算及び財産目録)

第32条 この法人の事業報告、決算及び財産目録は、会長が作成し、監事の監査を得て、その事業年度終了後3月以内に総会の承認を得なければならない。

第7章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第33条 この定款は、総会において総正会員の4分の3以上の同意を得、かつ、知事の認可を得なければ変更することができない。

(解散及び残余財産の処分)

第34条 この法人は、民法第68条第1項第2号から第4号まで及び同条第2項の規定により解散する。

- 2 民法第68条第2項第1号の規定による総会の決議に基づいて解散する場合は、総正会員の4分の3以上の同意を得、かつ、知事の承認を得なければならない。
- 3 解散したときに存する残余財産は、総会の議決を得、かつ、知事の承認を得て、この法人と類似の目的をもつ他の団体に寄附する。

第8章 雑則

(委任)

第35条 この定款の施行について必要な事項は、会長が理事会の議決を得て別に定める。

附 則

- 1 この定款は、設立許可のあった日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、第13条第2項の規定にかかわらず、別紙役員名簿のとおりとし、その任期は、第15条第1項の規定にかかわらず、平成元年3月31日までとする。
- 3 この法人の設立当初の事業年度は、第30条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から平成元年3月31日までとする。
- 4 この法人の設立当初の事業年度の事業計画及び予算は、第31条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。

附 則

この定款は、平成元年3月31日から施行する。
この定款は、平成11年3月31日から施行する。

この定款は原本と相違ありません。

平成19年4月27日

社団法人 鹿児島県放射線技師会

会 長 西本 孝市 印

市民健康まつりのご案内

拝啓 初秋の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。又、平素より本会運営につきまして、格別のご高配とご理解を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、恒例により、今年も第27回市民健康まつりが開催され、各医療団体と共に（社）鹿児島県放射線技師会としても主催者として参加します。会員のみなさまには、時間が合いましたら、ご近所お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

日 時：平成22年10月23日（土）

場 所：鹿児島県医師会館

健康トークショー：13時30分～15時

相談・展示コーナー：13時30分～16時

鹿児島県技師会秋季学術大会開催のお知らせ

日時：11月13日（土）15：00～

場所：県立薩南病院2階研修室

担当：南薩支部

※詳細等についてはホームページにて案内

【今後の予定】

平成22年

10月2日（土）第8回鹿児島支部研修会、北薩支部研修会、緊急被ばく医療基礎講座

10月8、9日 オータムセミナー

10月14日（木）～10月16日（土） 日本放射線技術学会

10月17日 JMS（ジャパン・マンモグラフィー・サンデー）

10月23日（土） 市民健康まつり、鹿児島県CT研究会

10月24日（日）ピンクリボン

11月10日（水）第4回理事会

11月13日（土）鹿児島県技師会秋季学術大会（薩南病院）

11月20日（土）～21日（日）第5回九州放射線医療技術学術大会

11月27日（土）大島支部研究会

平成23年

1月23日（日）定款改定特別臨時総会

3月6日（日）第88回通常総会およびレントゲン週間

(社) 鹿児島県放射線技師会
平成22年度 第1回 理事会議事録

期日：平成22年5月12日(水) 18時30分～

場所：技師会事務所

出席者：(理事) 池田、新村、大久保、藤崎、富松、原口、豊田

議事録署名人： 池田 陸 藤崎 拓郎

【 議題 】

1. 公益法人化に向けて

①複数年会費未納者の除籍規程について

News 除籍規程を掲示、除籍者リスト掲示

②総会における定款の改正に向けて (WEB会議について)

プロジェクトチーム： 新村さん、西本さん、中島さん 鹿児島支部支部長？

2. 支部長会議および懇親会

(支部長会議)

日時：平成22年5月15日(土) 15時30分～17時：30

場所：市立病院 第3会議室(西本理事) 駐車場？

(懇親会)

日時：平成22年5月15日(土) 18時～

場所：パレスイン鹿児島(大久保理事)

会費：5,500円(飲み放題)

3. 第87回通常総会

日時：平成22年6月12日(土) 14:00～16:30

場所：黎明館 講堂

集合時間 (12:50) 鹿児島支部より4名手伝い

総合司会兼祝賀会司会 (今田さん)

①特別講演 14:00～15:00

平成22年度診療報酬改正についての解説

コヴィディエンジャパン株式会社

②平成21年度決算総会 15:30～16:30

- ・事業計画（別紙資料：豊田）
 - ・収支決算書
 - ・会計監査（5月末日までに）
4. 河野さん叙勲祝賀会について（別紙資料：豊田）
日時：平成22年6月12日（土）17:30～
場所：ホテル吹上荘
準備状況、役割分担、案内状について
河野先生との連絡窓口、市立病院の取りまとめ（西本理事）
来賓祝辞、乾杯、スピーチ、万歳三唱（西本理事推薦）
5. ニュース（総会案内、祝賀会案内）のメ切 5月14日
6. 第5回九州放射線医療技術学術大会第1回役員会議事要旨
7. 平成22年度市民健康まつりについて
集合12時30分 パネル展示
15時～16時展示コーナー
8. フレッシュアップセミナーについて（学術理事）
7月11日
9. リーダー研修会および第2回支部長会議について（総務理事）
9月の土曜日におこなう。内容は検討中
10. 全国会長会議審議事項（資料別紙）
○第26回放射線技師学術大会その他について
会員数の動向 3万人を切っている 技師会の魅力づくりを！
○6月5日 11時～15時
22年度 JART 総会 代議員：池田、豊田、石本
○6月6日 会長会議
11. 平成22年度県民表彰候補者について
該当者なし
12. 大隅支部からの要望事項
① 委嘱状及び領収状等に使用する支部角印を検討し費用が21,000円かかります。

そこで、統一した各支部印を県技師会費で作成できませんか？

支部長会議にかけ、作成する場合 本部作成

- ② 救急医療センターの従事者の選定は、県技師理事会で要件にあった技師会員が条件だと考えております。技師会より救急医療センターの従事者選考に対する依頼状（許可状）がありません。本年度からできた当院の申請書（他医療機関への医療応援）を提出したいと考えていますので技師会より救急医療センター従事に対する必要性の公文書を作成して頂きたいのですが

（県技師会 HP にある既存の救急医療センター募集案内は古くて使用できません）

13. 6月5日 JART 総会出席者

鹿児島県より3名の出席者 会長含め3名

理事？支部長も候補者に？

6月6日は全国会長会議

14. ホームページのリニューアル（原口理事）

【その他】

○救急医療センター従事者で撮影が未熟な方に対してどうするか？

従事者連絡会

講習会：8月に予定

○JART 全国学術大会の余剰金 50万→実行委員の人件費にあてる。

○社会福祉協議会 40万→線量計を購入

【今後の予定】

5月15日（土）支部長会議および懇親会

6月5日（土）JART 総会

6月12日（土）第87回総会および叙勲祝賀会

7月17日（土）治療技術研究会（鹿児島大学）

【次回理事会】

7月 7日

(社) 鹿児島県放射線技師会 平成22年度 第2回 理事会議事録

期日：平成22年7月7日(水) 18時30分～

場所：技師会事務所

出席者：(監事) 鮫島 (理事) 池田、新村、大久保、石本、藤崎、冨松、原口、中島、豊田

議事録署名人： 池田 睦 藤崎 拓郎

【議題】

1. 公益法人準備委員会 名簿並びに今後の活動予定

○除籍者について

○準備委員の募集、人数、活動計画

定款改定WG：定款をどのように変更していくか検討→定款のたたき台を作成

WGメンバー：新村、西本、中島、池田、西元(市立病院)、鮫島監事、豊田

第1回WG：8月上旬に集合

臨時総会日程：準備状況および他のイベント等を考えると1月が妥当

2. 第6回九州医療技術学術大会のテーマ並びに準備予定

テーマを募集(各理事施設)：7月末日までに

ポスターの叩き台、各セクション責任者を新村実行委員長が選出)

○11月の熊本大会の視察、今後の予定

熊本のテーマ：教育現場(学生)と医療現場のギャップ

3. 市民健康まつりについて

○実行委員会の報告、準備状況 3階中ホール、スタッフ 10名予定(理事のみで)

4. がんサポートへの協力

：協賛金提供団体には展示ブースを提供する 9月25日(支部研修会)、26日のどちらかで。50

団体参加、チャリティーウォーク

協賛金は出し、技師会の名前を列記してもらう。

5. 表彰委員会について

○23年度秋の叙勲候補者の選択

○鹿児島県公衆衛生協会会長表彰候補者推薦(7月23日)→該当者なし

○第39回医療功労賞候補の推薦(9月30日)→該当者なし

6. 鹿児島支部研修会の講師について
鹿児島医療技術専門学校講師を支部研修会の講師として認めていいか？
県技師会としては認め難い。支部長と再検討とする。
7. 鹿児島県衛生協会への加入案内
→加入することで決定
8. 日本放射線技師連盟支部設立のお願い
各理事、各支部長に連絡
9. 環境測定の件 (藤崎理事)
10. フレッシュャーズセミナーの準備について (藤崎理事)

【報告事項】

- ① 原子力防災研修会の案内
- ② 緊急被ばく医療基礎講座Ⅱ(ホールボディカウンタコース)の案内
- ③ 九州部会セミナー 血管造影 講演会の案内
各支部、各研究会 連絡の徹底を
- ④ 会長会議
 - ・11月 定款改正臨時総会・代議員選挙(P29)・従来通りの直納制
 - ・生涯学習セミナー 福岡市 CT9月25日、MR 1月29日
 - ・会員の動向について

【その他】

藤崎理事：学術パソコンを購入して頂けないか？

【今後の予定】

- 7月11日(日) フレッシュャーズセミナー
7月24日(土) 第5回鹿児島県治療技術研究会、
第31回鹿児島消化器画像研究会、大隈支部研修会(池田、藤崎)
9月4日(土) 九州地域放射線技師研修会
9月25日(土) 第8回鹿児島支部研修会
10月2日(土) 北薩支部研修会、
10月23日 市民健康まつり

次回理事会 (9月 1日)

(社) 鹿児島県放射線技師会

平成22年度 第3回 理事会議事録

期日：平成22年9月1日(水) 18時30分～

場所：技師会事務所

出席者：(監事) 鮫島 (理事) 池田、新村、大久保、石本、藤崎、富松、原口、豊田

議事録署名人： 池田 睦 藤崎 拓郎

【議題】

1. リーダー研修会および第2回支部長会議について

①特別講演

理学療法士協会会長 「新公益法人への移行の必要性とその問題」

②支部長会議

臨時総会への準備状況等

2. レントゲン週間イベントについて

・実施するのか中止か？

臨時総会等があり実施するのは難しいが、公益率等の関係もあるので実施することとする。日程については3月の予算総会にあわせて行う。

日時：3月6日(日) 午前 総会 午後 レントゲン週間

場所：アイムビル アイムホール

テーマ(案)：「癌における放射線医療」 講演形式3部構成

- ・医師：陽子線治療(メディポリス)
- ・放射線技師：画像診断領域、放射線治療領域放射線技師
- ・患者の会：がんサポート鹿児島

3. ピンクリボン鹿児島2010の協力依頼(市立病院 隈君より)

日程：平成22年10月24日

隈さんからの要望：

- ①技師会より2～3名の参加してくれないか？
- ②今年から臨床検査技師会が幹部に入った。技師会も参加して欲しい。
- ③臨床検査技師会と放射線技師会の共通のブースを設けて自己検診の重要性について

啓蒙して欲しい。

技師会としてはどういうふうにして欲しいか再度、隈氏と相談し各支部、施設長に働きかける

4. 第6回九州放射線医療技術学術大会（鹿児島）

- ①大会テーマ コメディカルスタッフのリカレント教育の必要性
- ②基調講演
- ③シンポジウム：大野勝彦氏（阿蘇）

5. 大隅支部からの要望事項

委嘱状及び領収状等に使用する支部角印を検討し費用が21000円かかります。

そこで、統一した各支部印を県技師会費で作成できませんか？

（保留）公益法人化以降後印鑑を作りかえなければいけないのもう少し待ってもらってはどうか？支部長会議で検討。

6. 永年勤続表彰者申請（資料）

永続表彰を受けたい方、会報とホームページに案内

【報告事項】

1. 平成22年度第1回表彰委員会報告（別紙資料）

2. 公益法人化に向けて

- ①定款改定WG進捗状況（資料）

JART学術大会 in 東京 1898名の参加 一般会計5千万 実際 3千万

【今後の予定】

9月4日（土）九州地域放射線技師研修会

9月25日（土）九州部会セミナー、血管造影

9月26日（日）スポーツ交流会（南薩支部）

10月2日（土）第8回鹿児島支部研修会、北薩支部研修会、

10月8、9日 オータムセミナー

10月23日（土）市民健康まつり、池田、富松、原口、藤崎、大久保、豊田

CT研究会

10月24日（日）ピンクリボン

次回理事会（11月10日）

(社) 鹿児島県放射線技師会
平成22年度 第1回 支部長会議

日時：平成22年5月15日(土) 15時30分～18時：30
場所：鹿児島市立病院 第3会議室

【報告事項】

1. 大島支部支部長交代 出水田さん → 中原 隆重さん (県立大島病院)
2. 第87回通常総会
日時：平成22年6月12日(土) 14：00～16：30
場所：黎明館 講堂
①特別講演 14：00～15：00
平成22年度診療報酬改正についての解説
コヴィディエンジャパン株式会社
②平成21年度決算総会 15：30～16：30
正議長：南薩支部(松野下さん)、副議長：鹿児島支部
・事業報告・収支決算書
3. 河野さん叙勲祝賀会について
日時：平成22年6月12日(土) 17：30～
場所：ホテル吹上荘
準備状況、役割分担、案内状について
4. ニュース(総会案内、祝賀会案内) 出欠および委任状メ切 6月8日(火)
5. 第5回九州放射線医療技術学術大会第1回役員会議事要旨
(シンポジウム) 教育機関と現場の連携
演題メ 8月3日ふるって参加を
役員案内→決定
次期大会長等の発表
6. 第6回九州放射線医療学術大会(in鹿児島)
(予定)
平成23年11月5、6日(4日準備日)

大会会場 : 宝山ホール (仮予約)

懇親会開場: 中原別荘 (仮予約)

組織委員構成 (仮): 大会長 池田会長、実行委員長 新村副会長

- 総務、会計、学術は現理事にて構成する。○機器展示について、熊本は行わない。
- 鹿児島も機器展示は行わない方向でいく。ランチョンは行う。○実行委員会、組織委員会: 22年度10月までに鹿児島の実施要綱も決定おく
- テーマ: 社会においてスキルアップ、卒後教育○原田学園、発表はどうするか? 積極ときにはお願いはしない。

7. 平成22年度市民健康まつりについて

日時: 平成22年10月23日 (土) 13時30分~

場所: 医師会館 13:30~16時まで15時~

○12枚ぐらいのポスター展示○12時スタッフ集合

8. 全国会長会議審議事項

- 会員数の動向 平成20年度3月3万人→21年度は3万人を割っている
→魅力ある技師会作りを!
- 鹿児島の動向 人数は増えているが、未納者・連絡先不明があるので県技師会の本当の会員数が不明
- JART 事業計画: 生涯学習システムを柱に!
- 診療放射線技師法 60周年記念行事
- 診療報酬改定 医療と介護が同時改定→各県技師会
- 会費納入 各県技師会で集金→JARTに移行 (公益率をあげるため)
JARTが公益社団法人をとるために公益事業比率の分母がおおきくなる問題ないか?
- 第26回放射線技師学術大会その他について
目標2千人、一般会計より繰入 5千万 ?

(意見)

島尻支部長:

- ・診療報酬の中に技師の名称がでるためには?
- ・人を集めるために線管理士、機器管理士講習会にて更新ポイントを10ポイントにするなど提案してはどうか?

平賀支部長:

- ・3万人の技師数に対して2千人目標では少ないのでは? それに対して7千万もお金かけるのはバカげている。
- ・公益社団法人(本部)と一般社団法人(県)の関係がなりたつのか?

JARTの方向性としては会員発表数にこだわらない。セミナー等に重きをおいて活動していきたい!

【議題】

1. 公益法人化に向けて
 - ①複数年会費未納者の除籍規程について
10月をもって除籍する。
2. フレッシュャーズセミナーについて
3. リーダー研修会および第2回支部長会議について
4. 各支部研修会について
会員番号管理、参加者リストのデジタル化のお願い
5. 秋季学術大会について (南薩支部担当)

【支部報告・計画・問題提起】

- ①鹿児島支部 (坂下 周一郎 支部長)
- ②南薩支部 (野中 康博 支部長)
- ③川薩支部 (岡野 三男 支部長)
- ④霧島・始良支部 (平賀 真雄 支部長)
- ⑤大島支部 (中原 隆重支部長)
- ⑥大隅支部 (島見 末治 支部長)

【今後の予定】

- 6月5日(土) JART 総会
6月12日(土) 第87回総会および叙勲祝賀会
7月11日(日) フレッシュャーズセミナー (鹿児島大学)
7月17日(土) <予定> 放射線治療技術研究会 (鹿児島大学)

懇親会の案内

日時：平成22年5月15日(土) 18時～
場所：パレスイン鹿児島

(社) 鹿児島県放射線技師会 平成22年 第2回支部長会議

期日：平成22年9月11日（土）16時30分～18時30分
場所：鹿児島市立病院 3号館4階視聴覚室

【議題】

1. 定款改正の進捗状況

①新定款の提示

変更箇所の説明

②WEB 会議の準備状況

定款改定臨時総会の日時、場所の確認

③これからの予定

2. 鹿児島県緊急被ばく医療基礎講座Ⅰ 受講生募集

期日：平成22年10月2日（土）9時30分～16時30分

場所：鹿児島大学医学部 鶴陵会館

内容

緊急被ばく医療のあり方について

講義と実技 参加定員 30名ほど

3. 市民健康まつりの案内

期日：平成22年10月23日 13時30分～16時

会場：鹿児島県医師会館

①放射線技師会としての啓発事業 ②パネル展示③放射線相談

4. ピンクリボンイベントの参加案内

期日：平成22年10月24日 9時～14時30分

会場：鹿児島中央公園

①放射線技師会としての啓発事業

②自己検診のデモンストレーション

③放射線技師3～4名の派遣予定

5. レントゲン週間イベント

日時：平成23年3月6日（日）

鹿児島県放射線技師会の予算総会を併せて実施

午前：平成23年度予算総会

午後：レントゲン週間イベント

会場：アイムビル

内容：

- ① がんについてのシンポジウムを企画
- ② がんの画像診断と放射線治療（X線 or 粒子線）とがんサポート鹿児島と共同開催
- ③ シンポジストの選択、テーマの選択

6. 第6回九州放射線医療技術学術大会

日時：平成23年11月5日（土）、6日（日）

会場：宝山ホール

大会実施要綱（案）

- ① 大会テーマ「時代に必要とされる放射線技師のあり方
ーチーム医療推進に向けての課題ー」
- ② 特別講演1 「時代に必要とされる放射線技師のあり方」
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座
放射線診断治療学教室 教授 中條 政敬
- ③ 特別講演2 一般市民公開講座
「言い訳なしの人生、両手にありがとう、出会いに感謝」
風の丘 阿蘇 大野勝彦美術館 館長 大野 勝彦
- ④ シンポジウム「チーム医療推進に向けての課題」
基調講演 「チーム医療を支えるためのリカレント教育の必要性」
元京都大学病院放射線部技師長 廣瀬 哲雄
シンポジスト
1. 「放射線技師としての生涯学習について」
JART 理事
2. 未定
3. 未定

○報告事項

1. 表彰員会決議事項

- ① 叙勲表彰予定者
- ② 各表彰者の選択

○支部報告・計画・間提起

- ① 鹿児島支部（坂下 支部長）
- ② 南薩支部（野中 支部長）

- ③ 川薩支部 (岡野 支部長)
- ④ 霧島・始良支部 (平賀 支部長)
- ⑤ 大隅支部 (島見 末治 支部長)
- ⑥ 大島支部 (中原 支部長)

【今後の予定】

- 9月25日 (土) 九州部会セミナー血管造影 (鹿児島大学)
 - 10月2日 (土) 第8回鹿児島支部研修会、北薩支部研修会、緊急被ばく医療基礎講座
 - 10月8、9日 オータムセミナー
 - 10月14日 (木) ~10月16日 (土) 日本放射線技術学会
 - 10月17日 JMS (ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)
 - 10月23日 (土) 市民健康まつり、鹿児島県 CT 研究会
 - 10月24日 (日) ピンクリボン
 - 11月10日 (水) 第4回理事会
 - 11月13日 (土) 鹿児島県技師会秋季学術大会 (薩南病院)
 - 11月20日 (土) ~21日 (日) 第5回九州放射線医療技術学術大会
- 平成23年
- 1月23日 (日) 定款改定特別臨時総会
 - 3月6日 (日) 第88回通常総会およびレントゲン週間

第86回社団法人鹿児島県放射線技師会通常総会議事録

日時：平成22年3月14日（日）10時30分～11時30分

会場：鹿児島大学医学部保健学科 共通教育棟6階
インテリジェント講義室
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 資格審査
4. 議長団選出
5. 議事録署名人選出
6. 議事
議案第1号
平成22年度事業計画案に関する件
議案第2号
平成22年度収支予算案に関する件
議案第3号
その他
7. 議長団解任
8. その他
9. 閉会の辞

- ・日時：平成22年3月14日（日）10時30分～11時30分
- ・会場：鹿児島大学医学部保健学科 共通教育棟6階 インテリジェント講義室
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

- ・正会員数 461名（平成22年3月1日 現在）
- ・出席会員数 82名 委任状数 158名 合計 240名
- ・出席者氏名 別記

1. 開会の辞

新村栄次 副会長による86回総会開会の辞が行われた。

2. 会長挨拶

池田 睦 会長の挨拶が行われた。

3. 資格審査

豊田雅彦 総務理事より正会員数（平成22年3月1日現在）461名のうち出席82名、書面表決者158名、合計240名が出席し、過半数以上にあたるため本総会は成立したことを認める旨の報告が行われた。

4. 議長団選出

会場からの立候補はなく、執行部一任との発言により、正議長に今村病院の直竜貴氏、副議長に徳久整形外科の松野下直美氏を推薦し、満場一致で選出した。

議長登壇

5. 議事録署名人選出

会場からの立候補はなく、執行部一任との発言により、池田 睦会長、新村栄次副会長を推薦し満場一致で選出した。

6. 議事

1) 議案第1号 平成22年度事業計画案

池田 睦会長より別冊配布した総会資料により説明が行われた。

2) 議案第2号 平成22年度収支予算案

中島 裕二財務理事より別冊配布した総会資料により説明が行われた。

正議長：議事議案第1号から議事議案第2号までの質疑を受けた。

質疑：平賀氏)

消化管研究会を行なっているが、県技師会からの助成金が3万円です。我々研究会は年4回程活動をおこなっていますが、繰越金を見ると1千5百万円程あるとのことなので、もう少し助成金を増やして頂けないでしょうか？研究会に対して技師会会員と非会員で差別化を行なうとのことですが、非会員に対しては研究会に来て頂いて、研究会に勧誘していく方向でもっていく方が良いのではなんでしょうか？

応答：池田会長)

助成金に関しては、現在、研究会の見直しを行なっており、各研究会に対する助成金の在り方も今後検討していくつもりです。会員、非会員の差別化については日本放射線技師会、日本放射線技術学会においても会員のメリットを考え、会員を優遇するとう方向で一致しています。非会員の方には研究会に参加して頂き、積極的に研究会に勧誘を行ない、会員の方にはメリットを感じる方向で今後も進めていきたいと考えています。

新公益法人に移行した後は、公益率に関わってきますので、各支部、各研究会の方は非会員の方に積極的に勧誘を行なってください。

その他、質疑がないため、採決により挙手多数で議事議案第1号及び議事議案第2号は承認された。

3) 議案第3号 その他

副議長：執行部並びに会場からの意見・提案を求めた。

*ここでのその他は議決を有する議題である。

副議長：意見・提案がないため、議事議案第4号その他を終わります。

7. 議長団退席

8. その他

以下について池田 睦 会長より話があった。

・新公益法人移行について

新公益法人への移行については平成25年12月1日までとなっており、すでに14か月が経とうとしている状態です。一昨日も県庁保健医療福祉部で新公益法人への移行についてヒヤリングを受けてきました。新公益法人への移行が実現しなければ、社団法人 鹿児島県放射線技師会は解散ということにもなりかねません。それだけは絶対に阻止しなければなりません。

鹿児島県においては300数団体の法人組織が存在しており、その各々が一般社団法人、公益社団法人への移行の選択を迫られております。鹿児島県放射線技師会

は公益社団法人への移行を考えております。新公益法人に移行するためには定款名の変更や公益事業内容の記載など定款の改定が是非とも必要になります。

定款の改定には総会を開催して会員の4分の3以上の同意を得なければなりません。この同意は書面評決を認めないと定款に記載されており、委任状での採決ができず会員の出席が必須となります。現在の会員数460名の4分の3以上となりますと、345名以上の会員の出席と同意が必要になってきます。毎年の総会の出席者数は70名程度ですと300名ちかい会員の出席が必要です。

鹿児島県は離島を抱えており、大島支部においては会員数40数名ですがとても一堂に会しての総会は無理と考えます。現在、WEBカメラを使った会議等が可能かどうか保健医療福祉部に問い合わせをしております。

また、陸続きの鹿児島県内においても果たして300名以上の会員を召集できるかどうか分かりません。

しかし、新公益法人への移行は果たさなければならぬ事業です。計画としては平成22年度中に定款の改定を行い、平成23年度に新公益法人への申請を行いたいと思っています。

皆様のご協力をお願いする時が必ず来ると思います。執行部としましては各支部の皆様のご協力を是非ともお願いします。

理事会としまして、これから逐一、新公益法人化への準備状況を発信していこうと思います。鹿児島県放射線技師会ホームページ等を注意してご覧ください。

ちなみに、鹿児島県として現在、新公益法事の認定を得ているのは昭和会今給黎病院のみであり、審査段階なのは理学療法士会、鍼灸師会等の2～3団体となっています。

放射線技師会ではつい最近広島県放射線技師会が新公益法人の認定を受けております。

・第6回九州放射線医療技術学術大会について

第6回九州放射線医療技術学術大会が平成23年11月5日、6日、宝山ホールで開催されます。昨年、平成21年の6月に放射線技師総合学術大会という全国学会を終えたばかりなのですが、九州医療学術大会とはまた別という判断でしょうか、また学会の開催です。この九州放射線医療技術学術大会は九州放射線技師会と技術学会九州部会合同の学術大会として、毎年、隔年ごとに放射線技師会主体、技術学会主体と交代しながら運営してきております。来年は放射線技師会が主体となる学会ですので、鹿児島県放射線技師会の皆様にお手伝いをお願いすることになります。よろしく願いいたします。

学術大会のテーマ等を検討しております。会員の皆様からの要望も考慮いたしますので、どしどし、意見等をお願いいたします。特別公演は挨拶の時にご紹介しました大野勝彦さんをお願いできないかと思っています。

- ・ 21年度第1回九州放射線技師会理事会・九州各県放射線技師会会長会議の報告
 - 1) 平成21年度九州放射線技師会会務・事業報告
 - 2) 平成21年度九州放射線技師会研修会報告
 - 日時：平成21年9月12日（土）
 - 会場：福岡リーセントホテル
 - テーマ：技師教育の新たな課題 ～撮影技術の追求から読影へ～
 - テーマ討論：
 - 技師読影に必要な能力～急性腹症の所見と鑑別
 - ① 純X線写真 ②超音波検査 ③CT検査 ④MRI検査
 - 特別講演：
 - オートプシーイメージング（死亡時画像診断）の現状と課題
 - 作家・医師 会堂 尊 先生
 - 参加者数：212名
 - 3) 平成21年度九州放射線技師会決算報告
 - 4) 平成22年度九州放射線技師会会務・事業報告
 - 5) 平成22年度九州放射線技師会決算報告
 - 6) 平成22年度九州放射線技師会研修会案内
 - 日時：平成22年9月4日(土)12時40分～17時50分
 - 会場：熊本交通センターホテル
 - テーマ：がん克服への貢献～がん医療にける放射線技師の役割～
 - 7) 第5回九州放射線医療技術学術大会
 - 8) 役員改選
 - 日本放射線技師会九州地域理事
 - 新：産業医科大学 吉浦
 - 大分大学病院 村上
 - 九州放射線技師会会長・副会長
 - 新：大分大学病院 村上
 - 宮崎大学病院 紫垣
 - 9) その他
 - 福岡に2つの放射線技師養成機関設立の動き
 - ① 4年制大学 ② 3年生の専門学校
 - 九州放射線技師会として、専門学校設立の在り方について検討して行く各県、持ち帰って検討する。

9. 閉会の辞

すべての審議を終え、本総会は終了し、新村栄次 副会長による閉会の辞が行われた。

平成22年3月14日

正義 長直 竜貴 印

副議長 松野下直美 印

議事録署名人 池 田 睦 印

新 村 栄 次 印

議事録作成 豊 田 雅 彦 印

この議事録は原本と相違ありません

平成 22 年 8 月 25 日

社団法人 鹿児島県放射線技師会

会 長 池 田 睦 印

第87回社団法人鹿児島県放射線技師会通常総会議事録

・日時：平成22年6月12日（土）15時30分～16時30分

・場所：鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂
〒892-0853 鹿児島市城山町7-2

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 資格審査
4. 議長団選出
5. 議事録署名人選出
6. 議事
議案第1号
平成21年度会務報告に関する件
議案第2号
平成21年度決算報告に関する件
議案第3号
平成21年度監査報告に関する件
議案第4号
その他
7. 議長団解任
8. その他
10. 閉会の辞

・日時：平成22年6月12日（土）15時30分～16時30分

・場所：鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂
〒892-0853 鹿児島市城山町7-2

・正会員数 455名（平成22年6月1日現在）
・出席会員数 61名
・委任状数 169名
合 計 230名

総会開始

1. 開会の辞

新村栄次副会長による第87回総会開会の辞が行われた。

2. 会長挨拶

池田 睦会長の挨拶が行われた。

3. 資格審査

資格審査について、豊田雅彦総務理事より正会員数455名（平成20年6月1日現在）のうち230名（書面表決者169名を含む）が出席し総会が成立した旨の報告が行われた。

4. 議長団選出

会場からの立候補はなく、執行部より正議長に徳久整形外科の松野下直美氏さんと、副議長に鹿児島生協病院の前原邦章氏を推薦し、満場一致で選出された。

議長団登壇

5. 議事録署名人選出

会場からの立候補はなく、執行部より議事録署名人として、石本裕二理事と原口誠理事を推薦し、満場一致で両氏が選出された。

6. 議事

正議長：原口理事と石本理事を議事録署名人に選出して早速審議に入ります。時間の関係上、議事議案第1号から議事議案第3号まで続けて説明を受けた後、質疑応答及び採決にはいりたいと思います。

正議長：では、議事議案第1号から議事議案第3号まで執行部の説明をお願いします。

1) 議事議案第1号 平成21年度会務報告について

平成21年度 事業報告（総括） 池田 睦 会 長 報 告

活動報告	豊田 雅彦	総務理事	報告
	藤崎 拓郎	学術理事	報告
	冨松 正明	広報理事	報告
	大久保光男	福利厚生	報告
		組織表彰	報告

各理事より別冊配布した総会資料により説明がなされた。

- 2) 議事議案第2号 平成21年度決算報告について
西本孝市理事より別冊配布した総会資料により説明がなされた。
- 3) 議事議案第3号 監査報告について
鮫嶋宗俊監事、西本広男監事より監査報告書を提示された。
議事議案第1号から議事議案第3号までの一括質疑応答に入った。

議長：質問はないでしょうか。

島児氏：昨年、原発防災訓練等において県技師会のユニホームが必要なのではないかと提案をしたが、そのことに関して総括等には出ていないがどのようになっているのですか？

池田会長：理事会にて話は出ており、啓発の意味でも必要性は認識しています。ただ、まだ色々と検討していくこともありますので、もうしばらく待って下さい。何かしらの形でこの件について回答致します。

吉永氏：未収会費、130万とあるが、これは会費を払ってない会員がいるということでしょうか？それに対してどのような対応するのでか？

西本理事：過去何年も未納者の方がいます。これらの対応策として理事会にて除籍規程を作成しており、ニュースでも案内をだしています。

池田会長：80名弱の方が会費未納入であり、財務より督促状を出しても、私の方より連絡を取ろうとしても、連絡を取れない方が多くいます。未納者の方が会費を納めて頂くか、退会の意志を示して頂ければいいですが、そういう状況にないので理事会にて除籍規程をつくりました。公益法人化に向けて会員の4分3以上の出席がなければ定款改定の臨時総会が成立できません。そのためにも会費未納者で連絡が取れない会員は除籍し、会員の絞り込みを行ないます。

瀬戸氏：今、話に出た4分3以上の出席というのはハードルの高い数値ですが、それに対して対応策はありますか？

池田会長：定款改定の臨時総会は4分3以上の出席で認められ、委任状は認めないという非常に高いハードルです。県庁で定款改定（公益法人）

を取り扱っているところに相談したところ、web 会議で総会を行なうことは可能であろうという答えは頂いています。Web 会議を利用した総会になると思いますが、Web 会議のやり方等については理事会にて検討中です。現在、各支部の会場を各支部長に探して頂いています。

正議長：ニュースをみて、内容を知り驚かされたが、私自身、ニュース等は後回しにしてみる方であり、よくニュース等を見る会員は総会等に来られる方だと思います。総会等に来ないような一番懸念される方をどうするのか？例えば各施設、各技師長等に通知を行なうなど、広報をどのように行うのか検討して頂きたい。また、勤務等で出席が厳しい時間等もあるので、時間についても考慮して頂き、末端まで情報がいきわたることを意識していただきたい。

豊田理事：広報に関しては、ホームページ、会報、ニュース、その他にてできるだけ多くの呼びかけを行なっていくつもりです。次期については、はっきり日程は決まっていますが、年末もしくは年始になるかと思っています。今後、支部長会議、ワーキンググループ等において検討していくつもりです。本会に出席してくださっている方も回りの会員に周知していただけると助かります。

正議長：お願いですが、定款改定の臨時総会の日、勤務だったりする方や都合をつけ難い方もいると思いますので、できるだけ早く日程を決めてください。

議長：他に質問はないですか？

議長：ないようですので採決に入ります。

議事議案第1号及び議事議案第3号の説明に意義のない方、挙手をお願いします。

挙手多数で議事議案第1号から議事議案第3号は承認された。

議長交代

4) 議事議案第4号 その他について

副議長：議事議案第4号その他に入ります。

執行部並びに会場からのご意見・提案はないでしょうか。

*ここでのその他は議決を有する議題である。

会場より提案なし。

執行部からも提案なし。

副議長：議事議案第4号その他を終わります。

7. 議長団退席

8. その他

総合司会：その他について会員及び執行部から発言をお願いします。

池田会長より平成22年6月5日に開催された JART 総会の報告、九州医療技術学術大会について報告があった。

- ・ 21年収支決算と22年事業案の報告がありました。
- ・ 昨年6月に鹿児島にて開催された第25回全国学術大会について感謝状が贈られました。当時の組織委員の皆さんに感謝申し上げます。
- ・ 第26回学術大会が東京で開催されますが、JART 本部の直接開催で大規模なものになります。学術大会の予算も膨大なものになり、地方開催との予算の違いが問題に挙げられました。
- ・ 22年度・23年度の執行部の役員交代があり、北村会長は辞任され、東京放射線技師会の中澤会長が新しい会長として就任します。生涯学習事業が開催されていない点、学術大会の準備が遅れてしまった点、学術大会の予算面等が会長交代の原因となったようです。副会長も交代されます。北村会長は中医協のメンバーとなり、注目を集め、今後の動向が懸念されたが、常務理事として執行部に残られるとのことでした。
- ・ 27回全国学術大会が平成23年9月16～18日に青森にて開催されます。
- ・ 第5回九州放射線医療技術学術大会が平成22年11月20日～21日に熊本市の崇城大学にて開催されます。
- ・ 第6回九州放射線医療技術学術大会は鹿児島の方であります。実行委員長の新村副会長を中心に準備をすすめていきます。会場は宝山ホールを予定しております。大会テーマやシンポジウム等で何か考えありましたら、執行部の方のお知らせ願います。

・ 会場からは特に質問・提案なし。

10. 閉会の辞

すべての審議を終え、本総会が終了し、新村栄次副会長により閉会が宣言された。

平成22年6月12日

正義長	松野下直美	印
副議長	前原邦章	印
議事録署名人	石本裕二	印
	原口誠	印
議事録作成	豊田雅彦	印

この議事録は原本と相違ありません

平成22年8月25日

社団法人 鹿児島県放射線技師会

会長 池田睦 印

第86回通常総会 会場出席者(83名)

No.	施設名	氏名	No.	施設名	氏名
1	JA厚生連健康管理センター	原口 誠	41	鹿児島市医師会病院	内田 一正
2	JA厚生連健康管理センター	原口 宏典	42	鹿児島市医師会病院	橋口 満
3	JA厚生連健康管理センター	梶 祐幸	43	鹿児島市医師会病院	富松 正明
4	パールランド病院	隈元 忍	44	鹿児島市医師会病院	平田 勝
5	医療法人仁心会 福山病院	郭 武浩	45	鹿児島市立病院	西元 辰也
6	久木田整形外科病院	園田 実郎	46	鹿児島市立病院	西本 孝市
7	今給黎総合病院	新村 栄次	47	鹿児島大学病院	福島 昇
8	今給黎総合病院	室屋 純一	48	鹿児島大学病院	吉永 利彦
9	今給黎総合病院	松下 芳正	49	鹿児島大学病院	池田 睦
10	今給黎総合病院	永山 照明	50	鹿児島大学病院	穂満 信行
11	今給黎総合病院	大迫 良一	51	鹿児島大学病院	末永 浩一
12	今給黎総合病院	四本 斉	52	鹿児島大学病院	中島 祐二
13	今給黎総合病院	田川 伸夫	53	鹿児島大学病院	坂下 周一郎
14	今給黎総合病院	平原 大助	54	鹿児島大学病院	豊田 雅彦
15	今給黎総合病院	竹之内 学	55	鹿児島大学病院	谷本 江利子
16	今給黎総合病院	加治屋 博一	56	鹿児島大学病院	佐々木 雅史
17	今村病院	川畑 歳文	57	鹿児島大学病院	奥 好史
18	今村病院	瀬口 良子	58	鹿児島大学病院	本村 克朗
19	今村病院	直 竜貴	59	鹿児島大学病院	藤崎 拓郎
20	今村病院分院	中窪 広昌	60	鹿児島大学病院	西郷 康正
21	今村病院分院	浅井 愛邦	61	鹿児島大学病院	大園 健一
22	今村病院分院	弓場 翔美	62	鹿児島大学病院	小磯 美奈
23	財団法人メディポリス	西村 美幸	63	鹿児島大学病院	松本 俊也
24	鹿児島医療センター	渋谷 充	64	鹿児島大学病院	藤坂 智史
25	鹿児島医療センター	室屋 英人	65	鹿児島大学病院	小谷 弘樹
26	鹿児島医療センター	森 康哲	66	鹿児島大学病院	清水 ゆかり
27	鹿児島医療センター	瀬筒 美紀	67	鹿児島大学病院	木屋尾 祐太朗
28	鹿児島医療センター	坂元 成行	68	鹿児島大学病院	小屋 保浩
29	鹿児島医療センター	宮島 隆一	69	鹿児島大学病院	岩元 亮太
30	鹿児島医療センター	橋本 達也	70	鹿児島大学病院	千葉 調
31	鹿児島共済会南風病院	三反田 正紀	71	鹿児島通信病院	新留 寿
32	鹿児島共済会南風病院	石本 裕二	72	出水総合医療センター	古田 正成
33	鹿児島共済会南風病院	藤崎 誠	73	川内市医師会立市民病院	大久保 光男
34	鹿児島共済会南風病院	中原 武志	74	徳久整形外科	松野下 直美
35	鹿児島共済会南風病院	松山 芳郎	75	霧島市立医師会医療センター	橋本 隆志
36	鹿児島県立薩南病院	下吉 則孝	76	霧島市立医師会医療センター	平賀 真雄
37	鹿児島厚生連病院	中島 さおり	77	名瀬徳洲会病院	富永 有樹
38	鹿児島厚生連病院	西 憲文	78		村山 光生
39	鹿児島厚生連病院	稲森 茂樹	79		梶 岩雄
40	鹿児島厚生連病院	大徳 尚司	80		鮫嶋 宗俊
			81		平 啓一朗
			82		有蘭 良一
			83		岡田 淳徳

第87回通常総会 会場出席者(61名)

No.	施設名	氏名	No.	施設名	氏名
1	JA厚生連健康管理センター	原口 誠	31	鹿児島市医師会病院	橋口善治
2	上山病院	大塚麻理	32	鹿児島市医師会病院	富松 正明
3	鹿児島医療センター	橋本達也	33	鹿児島市医師会病院	平田 勝
4	鹿児島生協病院	前原邦彦	34	鹿児島市医師会病院	大迫 勇
5	霧島記念病院	小濱 剛	35	鹿児島市立病院	瀬戸 和人
6	やまびこ医療福祉センター	山口 信夫	36	鹿児島市立病院	隈 浩司
7	ヲサメ内科クリニック	下園大介	37	鹿児島市立病院	永田 隆二
8	吉田温泉病院	竹元 信秀	38	鹿児島市立病院	今田 万里代
9	久木田整形外科病院	園田 実郎	39	鹿児島市立病院	西本 孝市
10	今給黎総合病院	小屋俊彰	40	鹿児島市立病院	西元 辰也
11	今給黎総合病院	新村 栄次	41	鹿児島大学病院	坂下 周一郎
12	今給黎総合病院	田川 伸夫	42	鹿児島大学病院	木屋尾 祐太郎
13	今給黎総合病院	松下 芳正	43	鹿児島大学病院	吉永 利彦
14	今給黎総合病院	室屋 純一	44	鹿児島大学病院	穂満 信行
15	今給黎総合病院	永山 照明	45	鹿児島大学病院	谷本 江利子
16	今給黎総合病院	丸尾 美由紀	46	鹿児島大学病院	西郷 康正
17	今村病院	川畑 歳文	47	鹿児島大学病院	池田 睦
18	今村病院分院	恵 智徳	48	鹿児島大学病院	豊田 雅彦
19	今村病院分院	浅井 愛邦	49	鹿児島大学病院	川原 浩
20	鹿児島医療センター	室屋 英人	50	鹿児島大学病院	藤崎 拓郎
21	鹿児島医療センター	瀬筒 美紀	51	鹿児島大学病院	千葉 調
22	鹿児島医療技術専門学校	本田 城二	52	鹿児島大学病院	佐々木 雅史
23	鹿児島共済会南風病院	中原 武志	53	鹿児島大学病院	本村 克朗
24	鹿児島共済会南風病院	上床 達哉	54	鹿児島大学病院	小屋 保浩
25	鹿児島共済会南風病院	石本 裕二	55	垂水中央病院	島児 末治
26	鹿児島共済会南風病院	淵脇 崇史	56	川内市医師会立市民病院	大久保 光男
27	鹿児島厚生連病院	石山重行	57	長島町国民健康保険鷹巣診療所	田中 義朗
28	鹿児島厚生連病院	中島 さおり	58	徳久整形外科	松野下 直美
29	鹿児島厚生連病院	西 憲文	59	南薩ケアほすぴたる	湯ノ口 武司
30	鹿児島厚生連病院	大徳 尚司	60		村山 光生
			61		鮫嶋 宗俊

平成22年度事業計画

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下の事業を行う。

1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

2. フレッシュアップセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ一般撮影・CT・MRI等の研修を行う。

3. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』・『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

4. 秋季学術大会を南薩支部で開催

秋季学術大会は、隔年毎に各支部の持ち回りで企画・開催しているが、平成22年度は南薩地区で開催する。各支部の持ち回りで開催することにより、支部間の協力体制の強化を図る。

5. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

6. 学術大会の開催

第87回総会時に特別講演もしくはシンポジウムを開催し、技術の向上を図るとともに時代に即したテーマについての討論を行う。

7. 支部研修会の実施

6支部（鹿児島支部、南薩支部、北薩支部、霧島・始良支部、大隅支部、大島支部）

研修会を支部長の企画において開催する。また、開催の規模や頻度に応じた助成を行う。

8. 支部長会議の開催

各支部と県理事との連携を密にするための支部長会議を開催し、会務運営に支部の要望や意見を反映していく。また、各支部の行事等の調整を図っていく。

9. 各研究会の実施

消化管研究会、放射線治療研究会に加え、CT研究会、MR研究会を県の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行う。

10. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。

11. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益法人としての社会的役割を果たす。

12. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席する。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示していく。

13. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

14. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

15. 第6回九州放射線医療技術学術大会準備

平成23年に開催される九州放射線医療技術学術大会にむけて組織委員を構成し、日本放射線技術学会九州部会と連携を深め準備を進める。

16. 定款改正及び公益法人申請準備

公益法人3法の改正により、社団法人格を維持するためには、新法に基づく社団法人としての認可を受ける必要がある。平成22年度末までに定款を改正し、公益法人の許可申請を行なえるよう取り組む。

17. その他の事業

環境測定事業	環境測定を放射線管理士部会の組織下に置き、事業の見直しを検討する。各施設からの依頼を受け、環境測定を実施するとともに、放射線施設や機器の安全性に関する指導を行う。
出版事業	会報を2回発行するとともに、緊急連絡が必要な場合にはニュースを発行する。編集委員を設置し内容の充実を図るとともに表紙デザインの変更を検討する。
福利・厚生事業	叙勲や表彰の申請をおこなう。 会員の弔事見舞いを行う。
組織拡大事業	各種の行事に非会員も参加させ、入会の勧誘を行う。
他団体との連携	日本放射線技師会や関連団体と協力し、歩調を合わせて進むことにより連携を強化していく。

平成22年度 予算書

1. 収支予算書総括表

自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日

社団法人 鹿児島県放射線技師会

単位(円)

I 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
会費収入		3,247,000
事業収入		830,000
補助金等収入		100,000
負担金収入		522,500
雑収入		160,000
事業活動収入計		4,859,500
2. 事業活動支出		
(1) 事業費支出		3,762,500
事業対策費		830,000
学術研究事業費		722,000
支部助成金		440,000
出版事業費		560,000
福利厚生費		50,000
放射線啓発事業費		740,000
本部会費負担金		230,500
通信運搬費		100,000
その他必要経費		90,000
(2) 管理費支出		1,655,000
会議費		225,000
旅費交通費		320,000
需要費		690,000
渉外費		50,000
賃貸費		30,000
事務所運営費		184,000
租税公課		76,000
雑費		80,000
事業活動支出計		5,417,500
事業活動収支差額		0
II 投資活動収支の部		
1. 投資活動収入		
特定資産取崩収入		631,938
投資活動収入計		631,938
2. 投資活動支出		
特定資産取得支出		631,938
投資活動支出計		631,938
投資活動収支差額		0
III 財務活動収支の部		
1. 財務活動収入		
財務活動収入計		0
2. 財務活動支出		
財務活動支出計		0
財務活動収支差額		0
IV 予備費支出		15,066,537
当期収支差額		△ 15,066,537
前期繰越収支差額		15,066,537
次期繰越収支差額		0

2. 平成22年度 収支予算書

自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日社団法人 鹿児島県放射線技師会
単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増 減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	3,247,000	3,455,000	△ 208,000	
正会員会費収入	3,227,000	3,395,000	△ 168,000	7,000×461名(新入会12名)
準会員会費収入	20,000	60,000	△ 40,000	20,000×1社
事業収入	830,000	730,000	100,000	
研修会会費収入	30,000	50,000	△ 20,000	
広告収入	450,000	330,000	120,000	30,000×15社
環境測定事業収入	350,000	350,000	0	
補助金等収入	100,000	300,000	△ 200,000	
民間補助金収入	100,000	300,000	△ 200,000	全国・九州会長会議等
負担金収入	522,500	534,500	△ 12,000	
九州地域放射線技師会会費負担金	230,500	242,500	△ 12,000	500×461名(新入会12名)
市医師会負担金	292,000	292,000	0	800円×365日 通信・研修等
雑収入	160,000	160,000	0	
受取利息収入	10,000	10,000	0	
雑収入	150,000	150,000	0	
事業活動収入計	4,859,500	5,179,500	△ 320,000	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	3,762,500	3,567,500	195,000	
事業対策費	830,000	520,000	310,000	
広報活動費(事業)	200,000	20,000	180,000	レントゲン週間広告費など
調査事業費(事業)	150,000	30,000	120,000	
講習会対策費(事業)	30,000	30,000	0	講習会・研修会等の調査・対策
渉外対策費(事業)	30,000	30,000	0	
旅費交通費支出(事業)	250,000	190,000	60,000	
表彰対策費(事業)	50,000	50,000	0	
出版物頒布費(事業)	120,000	170,000	△ 50,000	会報・ニュース等の頒布費
学術研究事業費	722,000	722,000	0	
鹿児島県学術大会費(事業)	150,000	150,000	0	
生涯教育セミナー費(事業)	100,000	100,000	0	フレッシュヤーズ・リーダー育成等
学術助成金(事業)	120,000	120,000	0	研究会助成金合算上限 比率制
管理士部会費(事業)	90,000	90,000	0	線管理・機器・医用画像管理士部会費
夜間急病センター研修委託費(事業)	262,000	262,000	0	夜間急病センター派遣員研修委託費
支部助成金	440,000	440,000	0	
鹿児島支部助成金(事業)	150,000	150,000	0	支部研修会助成金
北薩支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
大隅支部助成金(事業)	70,000	70,000	0	支部研修会助成金(支部会2回開催)
大島支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
霧島始良支部助成金(事業)	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
南薩支部助成金(事業)	70,000	70,000	0	支部研修会助成金(支部会2回開催)
出版事業費	560,000	440,000	120,000	
会報印刷費(事業)	450,000	330,000	120,000	
小冊子印刷費(事業)	70,000	70,000	0	
ニュース印刷費(事業)	40,000	40,000	0	
福利厚生費	50,000	50,000	0	
慶弔費(事業)	50,000	50,000	0	

2. 平成22年度 収支予算書

自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日

社団法人 鹿児島県放射線技師会
単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増 減	備考
放射線啓発事業費	740,000	920,000	△ 180,000	
環境測定事業費(事業)	220,000	220,000	0	
ホームページ運営費(事業)	70,000	100,000	△ 30,000	広報委員会/HP充実
放射線展費(事業)	100,000	100,000	0	放射線啓発等
関連団体会議費(事業)	300,000	450,000	△ 150,000	市民健康まつり等
放射線管理士事業費(事業)	50,000	50,000	0	放射線啓発事業
本部会費負担金	230,500	242,500	△ 12,000	
九州地域放射線技師会費(事業)	230,500	242,500	△ 12,000	500×461名(新入会12名)
通信運搬費	100,000	123,000	△ 23,000	
通信運搬費支出(事業)	100,000	123,000	△ 23,000	
その他必要経費	90,000	110,000	△ 20,000	
保険料(事業)	10,000	10,000	0	
租税公課支出(事業)	50,000	50,000	0	
雑支出(事業)	30,000	50,000	△ 20,000	
(2) 管理費支出	1,655,000	1,612,000	43,000	
会議費	225,000	225,000	0	
総会費(管理)	150,000	150,000	0	
理事会費(管理)	15,000	15,000	0	
委員会費(管理)	30,000	30,000	0	
支部長会費(管理)	20,000	20,000	0	
部会会議費(管理)	10,000	10,000	0	
旅費交通費	320,000	510,000	△ 190,000	
会長会議旅費(管理)	100,000	300,000	△ 200,000	
理事会旅費(管理)	40,000	30,000	10,000	
委員会旅費(管理)	80,000	80,000	0	
支部長会議旅費(管理)	80,000	80,000	0	
部会会議旅費(管理)	20,000	20,000	0	
需要費	690,000	480,000	210,000	
什器・備品費(管理)	300,000	300,000	0	
備品管理費(管理)	50,000	50,000	0	備品の修理・管理等
消耗品費支出(管理)	40,000	40,000	0	
印刷製本費(管理)	30,000	30,000	0	
通信運搬費支出(管理)	30,000	20,000	10,000	
夜間急病センター通信費	30,000	30,000	0	
部会通信費	10,000	10,000	0	
新公益法人化事業対策費	200,000	0	200,000	単年度事業
渉外費	50,000	50,000	0	
役員渉外費	50,000	50,000	0	
賃貸費	30,000	30,000	0	
賃貸料支出(管理)	30,000	30,000	0	リース契約等
事務所運営費	184,000	184,000	0	
維持管理費	100,000	100,000	0	
事務所雑費	10,000	10,000	0	
火災保険料支出	74,000	74,000	0	
租税公課	76,000	53,000	23,000	
租税公課支出(管理)	76,000	53,000	23,000	
雑費	80,000	80,000	0	
雑支出	80,000	80,000	0	

2. 平成22年度 収支予算書

自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日

社団法人 鹿児島県放射線技師会
単位(円)

勘定科目	次期予算額	当年度予算額	増 減	備考
事業活動支出計	5,417,500	5,179,500	238,000	
事業活動収支差額	0	0	0	
Ⅱ 投資活動収支の部			0	
1. 投資活動収入			0	
特定資産取崩収入			0	
建物減価償却引当資産取崩収入	407,880	407,880	0	
備品減価償却引当資産取崩収入	224,058	250,649	△ 26,591	
投資活動収入計	631,938	658,529	△ 26,591	
2. 投資活動支出			0	
特定資産取得支出			0	
建物減価償却引当資産取得支出	407,880	407,880	0	
備品減価償却引当資産取得支出	224,058	250,649	△ 26,591	
投資活動支出計	631,938	658,529	△ 26,591	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部			0	
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
又入 財務活動支出計	0	0	0	
又入 財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	15,066,537	14,236,864	829,673	
当期収支差額	△ 15,066,537	△ 14,236,864	△ 829,673	
前期繰越収支差額	15,066,537	14,236,864	829,673	
又出 次期繰越収支差額	0	0	0	
注(注) 1. 借入金限度額	0円			
2. 債務負債額	0円			
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部			0	
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	15,066,537	14,236,864	829,673	
当期収支差額	△ 15,066,537	△ 14,236,864	△ 829,673	
前期繰越収支差額	15,066,537	14,236,864	829,673	
次期繰越収支差額	0	0	0	
(注) 1. 借入金限度額	0円			
2. 債務負債額	0円			

第 87 回 社団法人 鹿児島県放射線技師会 通常総会報告

平成 21 年度事業総括

1. 総括

本会設立の目的である診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するために必要な事業計画に基づいて 21 年度事業を遂行してきました。日本放射線技師会の「国民から見える職業へ」をスローガンのもとに、放射線技師職のアピールに関する事業を中心に事業を進めてきたので報告します。

会員の資質の向上を目的としての事業として、フレッシュャーズセミナー、リーダー育成研修会、秋季学術大会、市民健康まつり、支部研修会、レントゲン週間イベントを開催してきました。また、6 月には第 25 回放射線技師総合学術大会・第 12 回東アジア学術交流大会を開催いたしました。

フレッシュャーズセミナーは例年お馴染みのプラスピュアの野口先生に依頼しまして接遇の講演、そして診療放射線学ではMRI, CT, 消化管・超音波の内容で開催いたしました。

リーダー研修会は「医療監視のチェックポイント」と題して九州厚生局医療指導課放射線管理担当官（元鹿児島医療センター技師長）の折田信一氏に講演をお願いしました。

第 26 回市民健康まつりは例年通り鹿児島アリーナで開催され、「予防と対策“メタボリックシンドローム”」のサブテーマに沿って、放射線技師会でも脳血管障害や心臓病に関するパネル展示や 3Dワークステーションによる画像の供覧を行い、技師会ブースには例年の 2 倍の以上の来場者を迎える事が出来、放射線技師会の啓発が行えました。

第 25 回放射線技師総合学術大会・第 12 回東アジア学術交流大会は 6 月の 4 日～6 日に開催されました。日本放射線技師会の全国規模の学術大会であり鹿児島県放射線技師会の全ての会員の協力無しには実現できない大会でした。2 年前より組織委員会を結成し、予算の作成やイベントの企画、実行委員会の設立等、瞬く間に日数は過ぎ学会当日を迎えました。学会は参加人数約 1200 名、懇親会は 330 名という盛大な大会となりました。当初から別な意味での関心事であった収支についても組織委員会のチームワークが取れた昼夜を問わない働きにより、無事赤字を出すことなく終了することが出来ました。

放射線技師会の行政機関への協力事業として、鹿児島県が主催する原子力防災訓練に放射線技師会チームとして汚染測定担当 2 名、住民健康相談担当 1 名、通信連絡担当 1 名が参加しました。21 年度は原子力防災訓練が平日に開催されたため、他施設のスクリーニングチームが参加できず、放射線技師会の活動に大きな期待がかけられました。放射線に関する専門的技術者集団という活動状況が行政側にも認められつつあると感じました。また、鹿児島市の夜間急病センターの委託業務ならびに医療機関の漏洩線量測定や放射線安全相談や指導等も行いました。

レントゲン週間イベントにおいては、近年、徐々に増加しつつある「認知症」を取り上げ、「認知症を理解しよう」をテーマにエーザイ株式会社と市民公開講座を共催いたしました。医師の立場、放射線技師の立場、そして患者を支える家族の立場から 3 人のシンポジストを迎えて講演会

を企画いたしました。医師の立場から認知症の概念や病態および診断、そして認知症の治療まで講演いただき、放射線技師の立場からはMRIを利用した認知症の診断システムVSRADを紹介してもらい、認知症の画像診断を市民の方々に説明してもらいました。また、今回、認知症の家族の会とも協力することが出来、家族の立場からの声を聞く事が出来たことは大きな成果だったと思います。市民の来場者も200名を超え、放射線技師の啓発が十分行えたと思います。また、鹿児島県の医療福祉関係の方も聴講されており、放射線技師の認識が非常に高揚された講演会になりました。

鹿児島県放射線技師会春季学術大会は研究発表、特別講演を行いました。特別講演はアロマセラピーを取り上げ、メンタルケアの実践として香りの効用を講演していただきました。個人が心地良いと感じる場合の香りの成分により、その時の自分の精神状態を推定することが出来、我々医療に携わる者として患者接遇にも活かせるのではないかと考えました。

以上、総括について報告しました。詳細については担当理事より報告します。1年間、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

平成21年度活動報告

総務

会員数 461名 (平成22年3月31日現在)

新入会 16名

退会 13名

転入 2名 ・ 転出 3名

平成21年

4月9日 第1回理事会

4月11日 第4回九州放射線医療技術学術大会第
1回役員会 (福岡) 西本理事

5月14日 財務監査

5月19日 第1回市民健康祭り実行委員会
西本理事

6月4日～6日

第25回放射線技師総合学術大会・

第12回東アジア学術交流大会 (鹿児島)

6月6日 第67回日本放射線技師会通常総会
(鹿児島)

西本理事・新村理事・西元理事

6月10日 第2回理事会

6月20日 第85回通常総会 (黎明館・2階講堂)
特別講演

「食と農に吹く風」

萬田 正治 先生

7月25日 第1回放射線技師学術大会運営にお
ける検討委員会

(日本放射線技師会本部会議室) 池田会長

7月28日 第2回市民健康まつり実行委員会
池田会長

7月28日 鹿児島県における緊急被ばく医療患者搬
送における検証会

(ホテルオオトリ薩摩川内市) 池田会長

8月22日 新任会長会議並びに全国会長会議
(日本放射線技師会本部会議室)

池田会長

8月26日 第3回市民健康まつり実行委員会出席
(鹿児島市医師会館) 池田会長

8月30日 第28回大隅支部研修会
(垂水中央病院)

共催：医用画像管理士部会

9月9日 第4回理事会

9月12日 第19回南薩支部研修会
(サザンリージョン病院)

9月12日 九州地域放射線技師研修会
(福岡リーセントホテル) 池田会長

9月12日 第1回教育委員責任者会議 (福岡)
藤崎理事

9月27日 フレッシュャーズセミナー、支部長会議、
リーダー研修会 (鹿児島大学病院)

10月3日 第2回放射線技師学術大会運営に
おける検討委員会学術大会

(日本放射線技師会本部会議室) 池田会長

10月9日 原子力防災訓練参加者打ち合わせ会
(薩摩川内市) 池田会長

10月12日 原子力防災訓練参加者打ち合わせ会
(薩摩川内市) 池田会長

10月17日 第18回川薩支部研修会
(出水総合医療センター)

10月25日 第26回市民健康まつり
(鹿児島アリーナ)

10月25日 南薩支部ソフトボール大会
(南さつま市加世田運動公園)

11月8日 福岡県放射線技師会創立60周年記
念式典、祝賀会

(九州大学医学部百年講堂) 池田会長

11月14日 秋季学術大会 (鹿児島支部)

11月18日 第5回理事会

11月21日～22日 第4回九州放射線医療技術
学術大会

(沖縄コンベンションセンター)

12月21日 第26回市民健康祭り実行委員会
池田会長

平成 22 年

- 1月 9日 鹿児島県医師会賀詞交歓会
池田会長
- 1月15日 第6回理事会および新年階
- 1月17日 レントゲン週間 市民公開講座
(アイムビル)
- 1月19日 原子力防災訓練(川内・鹿児島)
新村副会長、石本理事、原口理事
- 1月30日 霧島・始良支部研修会
新村副会長
- 1月30日 大島支部研修会
- 2月 3日 第7回理事会
- 2月13日 第7回鹿児島支部研修会
(鹿児島厚生連病院)
- 2月13日 第4回九州医療技術学術大会第2回
役員会(ナースプラザ福岡)
池田会長
- 2月17日 緊急被ばく医療会議
池田会長
- 2月20日 第29回大隅支部研修会
(県民健康プラザ鹿屋医療センター)
新村副会長、中島理事
- 2月27日 第20回南薩支部研修会
池田会長、藤崎理事、石本理事
- 3月 6日 大島支部研修会
(県立大島病院2階研究室)
池田会長、豊田理事
- 3月10日 公益法人説明(鹿児島県庁)
池田会長、中島理事
- 3月13日 九州地域役員会(大分)
池田会長
- 3月14日 第86回通常総会・春季学術大会
(鹿児島大学病院保健学科共通教育棟)

学 術

- I. 支部研修会・学術大会
1. 鹿児島支部研修会
日時：平成22年2月13日(土)
会場：鹿児島厚生連病院
2. 南薩支部研修会
日時：平成21年9月12日(土)
会場：サザンリージョン病院
- 日時：平成22年2月27日
会場：県立薩南病院
3. 大隈支部研修会
日時：平成21年8月30日
会場：垂水中央病院
共催：医用画像管理士部会
- 日時：平成22年2月27日(土)
会場：鹿屋県民健康プラザ医療センター
4. 霧島・始良支部研修会
日時：平成22年1月30日(土)
会場：霧島市立医師会医療センター
- II. 学術大会
1. 平成21年度鹿児島県放射線技師会
秋季学術大会(鹿児島支部)
日時：平成21年11月14日(土)
会場：南風病院 ANNEX1
2. 平成21年度鹿児島県放射線技師会
春季学術大会
日時：平成22年3月14日(日)
会場：鹿児島大学病院保健学科共通教育棟
インテリジェント講義室

内容：会員発表6題

特別講演

「アロマセラピー概論 ～メンタルケアの実践～」

ハーブ・アロマ・「gatouria」代表

藤井 志帆 先生

“放射線治療の危機管理”

・基調講演 (DVD)

和歌山県立医科大学病院

岸 和史 先生

・各施設における危機管理

Ⅲ. 研究会

第3回鹿児島県放射線治療技術研究会

日時：平成21年7月4日(土) 15:00~18:30

場所：鹿児島大学病院 第4講義室

【施設紹介】

薩南病院

県立薩南病院 餅原 信広

【教育講演 I】

“肺がんの放射線治療”

鹿児島大学病院 放射線科

平木 嘉幸 先生

【教育講演 II】

“直線加速器の基礎”

【テーマ討論】

“皮膚マーキング”

第4回鹿児島県放射線治療技術研究会

日時：平成21年12月5日(土) 14:30~18:30

場所：鹿児島大学病院 第4講義室

【施設紹介】

“川内済生会病院”

川内済生会病院 竹原 豊治

【教育講演】

“RTPのアルゴリズムについて”

CMSジャパン株式会社

カスタマーサポート物理部物理士 中林 匡

【テーマ討論】

Ⅳ. フレッシュャーズセミナー

日時：平成21年9月27日(日)

会場：鹿児島大学病院 第4講義室

内容：患者接遇・CT・

エコー・マンモ

【広報・編集】

1. 鹿児島県放射線技師会会報発行

第110号 (平成21年9月)

第111号 (平成22年3月)

2. 総会資料作成

第85回 (平成21年6月)

第86回 (平成22年3月)

3. 行事等の写真撮影および編集

4. 鹿児島市医師会夜間急病センターに関する業務

(勤務作成・連絡網作成 等)

【福利・厚生】

1. 叙勲候補者の推薦を行った

河野 正人 氏

【組織・表彰】

1. フレッシュャーズセミナーにて会員誘導を実施した

平成21年9月27日(日)

鹿児島大学医学部第4講義室

収支計算書総括表

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位:円)

勘定科目		
I 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
会費収入		2,813,000
事業収入		804,000
補助金等収入		528,120
負担金収入		492,000
雑収入		178,180
前受金		37,500
他会計からの繰入金収入		0
事業活動収入計 (A)		4,852,800
2. 事業活動支出		
(1) 事業費支出		2,716,996
事業対策費		302,315
学術研究事業費		333,730
支部助成金		390,000
出版事業費		501,000
福利厚生費		13,843
放射線啓発事業費		842,400
本部会費負担金		230,000
通信運搬費		47,370
その他必要経費		56,338
(2) 管理費支出		1,401,820
会議費		234,282
旅費交通費		331,200
需要費		474,305
渉外費		0
賃貸費		0
事務所運営費		152,856
租税公課		75,500
雑費		133,677
次年度会費繰越金		35,000
次年度負担金繰越金		2,500
事業活動支出計 (B)		4,156,316
事業活動収支差額 (A)-(B)		696,484
II 投資活動収支の部		0
1. 投資活動収入		0
投資活動収入計		0
2. 投資活動支出		0
投資活動支出計		0
投資活動収支差額		0
III 財務活動収支の部		0
1. 財務活動収入		0
財務活動収入計		0
2. 財務活動支出		0
財務活動支出計		0
財務活動収支差額		0
IV 予備費支出		0
当期収支差額		696,484
前期繰越収支差額		15,066,537
次期繰越収支差額		15,763,021

社団法人 鹿児島県放射線技師会

収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	3,455,000	2,813,000	642,000
正会員会費収入	3,395,000	2,569,000	826,000
前年度繰越前受正会員会費収入		154,000	△ 154,000
過年度正会員会費収入		70,000	△ 70,000
準会員会費収入	60,000	20,000	40,000
事業収入	730,000	804,000	△ 74,000
研修会会費収入	50,000	0	50,000
広告収入	330,000	450,000	△ 120,000
環境測定事業収入	350,000	354,000	△ 4,000
補助金等収入	300,000	528,120	△ 228,120
民間補助金収入	300,000	528,120	△ 228,120
負担金収入	534,500	492,000	42,500
九州地域放射線技師会会費負担金	242,500	184,000	58,500
前年度繰越前受九州負担金収入		11,000	△ 11,000
過年度九州地域放射線技師会会費負担金		5,000	△ 5,000
市医師会負担金	292,000	292,000	0
雑収入	160,000	178,180	△ 18,180
受取利息収入	10,000	484	9,516
雑収入	150,000	177,696	△ 27,696
前受金		37,500	△ 37,500
前受会費		35,000	△ 35,000
前受負担金		2,500	△ 2,500
他会計からの繰入金収入		0	0
他会計からの繰入金収入		0	0
事業活動収入計 (A)	5,179,500	4,852,800	326,700

社団法人 鹿児島県放射線技師会

収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	3,567,500	2,716,996	850,504
事業対策費	520,000	302,315	217,685
広報活動費	20,000	10,000	10,000
調査事業費	30,000	18,000	12,000
講習会対策費	30,000	0	30,000
渉外対策費	30,000	21,363	8,637
旅費交通費支出	190,000	206,100	△ 16,100
表彰対策費	50,000	0	50,000
出版物頒布費	170,000	46,852	123,148
学術研究事業費	722,000	333,730	388,270
鹿児島県学術大会費	150,000	95,490	54,510
生涯教育セミナー費	100,000	199,000	△ 99,000
学術助成金	120,000	30,000	90,000
管理士部会費	90,000	0	90,000
夜間急病センター研修委託費	262,000	9,240	252,760
支部助成金	440,000	390,000	50,000
鹿児島支部助成金	150,000	150,000	0
川薩支部助成金	50,000	0	50,000
大隅支部助成金	70,000	70,000	0
大島支部助成金	50,000	50,000	0
霧島始良支部助成金	50,000	50,000	0
南薩支部助成金	70,000	70,000	0
出版事業費	440,000	501,000	△ 61,000
会報印刷費	330,000	501,000	△ 171,000
小冊子印刷費	70,000	0	70,000
ニュース印刷費	40,000	0	40,000
福利厚生費	50,000	13,843	36,157
慶弔費	50,000	13,843	36,157
放射線啓発事業費	920,000	842,400	77,600
環境測定事業費	220,000	258,000	△ 38,000
ホームページ運営費	100,000	54,300	45,700
放射線展費	100,000	88,000	12,000
関連団体会議費	450,000	442,100	7,900
放射線管理士事業費	50,000	0	50,000
本部会費負担金	242,500	230,000	12,500
九州地域放射線技師会費	242,500	230,000	12,500
通信運搬費	123,000	47,370	75,630
通信運搬費支出	123,000	47,370	75,630
その他必要経費	110,000	56,338	53,662
保険料	10,000	0	10,000
租税公課支出	50,000	54,338	△ 4,338
雑支出	50,000	2,000	48,000

社団法人 鹿兒島県放射線技師会

収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
(2) 管理費支出	1,612,000	1,401,820	210,180
会議費	225,000	234,282	△ 9,282
総会費	150,000	191,890	△ 41,890
理事会費	15,000	3,548	11,452
委員会費	30,000	16,468	13,532
支部長会費	20,000	22,376	△ 2,376
部会会議費	10,000	0	10,000
旅費交通費	510,000	331,200	178,800
会長会議旅費	300,000	182,000	118,000
理事会旅費	30,000	44,000	△ 14,000
委員会旅費	80,000	44,000	36,000
支部長会議旅費	80,000	61,200	18,800
部会会議旅費	20,000	0	20,000
需要費	480,000	474,305	5,695
什器・備品費	300,000	249,933	50,067
備品管理費	50,000	44,580	5,420
消耗品費支出	40,000	40,332	△ 332
印刷製本費	30,000	95,880	△ 65,880
通信運搬費支出(管理)	20,000	23,580	△ 3,580
夜間急病センター通信費	30,000	20,000	10,000
部会通信費	10,000	0	10,000
渉外費	50,000	0	50,000
役員渉外費	50,000	0	50,000
賃貸費	30,000	0	30,000
賃貸料支出	30,000	0	30,000
事務所運営費	184,000	152,856	31,144
維持管理費	100,000	80,310	19,690
事務所雑費	10,000	0	10,000
火災保険料支出	74,000	72,546	1,454
租税公課	53,000	75,500	△ 22,500
租税公課支出(管理)	53,000	75,500	△ 22,500
雑費	80,000	133,677	△ 53,677
雑支出	80,000	133,677	△ 53,677
次年度会費繰越金		35,000	
次年度負担金繰越金		2,500	
事業活動支出計 (B)	5,179,500	4,156,316	1,023,184
事業活動収支差額 (A) - (B)	0	696,484	△ 696,484

社団法人 鹿児島県放射線技師会

収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
Ⅱ 投資活動収支の部			0
1. 投資活動収入			0
(2) 特定資産取崩収入			0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			0
(2) 特定資産取得支出			0
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部			0
1. 財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	15,066,537	0	15,066,537
当期収支差額	△ 15,066,537	696,484	△ 15,763,021
前期繰越収支差額	15,066,537	15,066,537	0
次期繰越収支差額	0	15,763,021	△ 15,763,021

社団法人 鹿児島県放射線技師会

計算書類に対する注記

平成22年3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

什器備品、事務所備品、事務所(建物)について：
定額法にて減価償却を行っている。
残存価額は取得価額の10%とする。

減価償却期間について

什器備品及び、事務所備品については6年
不動産に関しては建物は25年

(2) 資金の範囲

資金の範囲には、流動資産、流動負債のすべてを含めることにしている。
なお、当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	
1. 流動資産		
現金預金	15,290,021	
未収会費	1,302,000	
未収負担金	93,000	
小計		16,685,021
2. 流動負債		
未払金	0	
前受金	37,500	
小計		37,500
合計		16,647,521
次期繰越収支差額		16,647,521
次期繰越収支差額(未収金を含まない)		15,763,021

3. 固定資産の取得価額、取得日、当期減価償却額、累積減価償却額及び、期末評価額については次のとおりである。

科 目	名 称	取得価格	取得日	減価償却回数	当期減価償却額	累積減価償却額	期末評価額
什器備品	財務会計システム	564,200	平成18年	4	84,630	338,520	225,680
	総務用ノートパソコン	117,800	平成19年	3	17,670	53,010	64,790
	テレビモニター	160,000	平成21年	1	24,000	24,000	136,000
	レーザープリンター	68,980	平成21年	1	10,347	10,347	58,633
不動産	建物(事務所)	11,330,000	平成11年	8	407,880	3,263,040	8,066,960
	土地	7,900,000	平成11年	0	0	0	7,900,000

建物:木造スレート葺き2階建て 67.9平米
土地:鹿児島市東坂元4丁目28-11 132.24平米

4. 以下の資産は、減価償却が終了したので除却する。
除却資産リスト

科 目	名 称	期首評価額	除却年月	累積減価償却額	期末評価額
什器備品	DVDレコーダー	9,651	平成22年3月	96,495	0
	ノートパソコン	16,800	平成22年3月	168,000	0
	PCプロジェクター	57,750	平成22年3月	577,500	0
	デジタルカメラ	5,250	平成22年3月	52,500	0
	DVビデオカメラ	9,450	平成22年3月	94,500	0

社団法人 鹿児島県放射線技師会

貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,290,021	14,721,037	568,984
現金	1,488	51,150	△ 49,662
普通預金	1,539,848	2,523,298	△ 983,450
定期預金	5,899,000	5,899,000	0
郵便貯金	7,849,685	6,247,589	1,602,096
未収会費	1,302,000	476,000	919,000
未収負担金	93,000	34,500	58,500
流動資産合計	16,685,021	15,231,537	1,546,484
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	7,900,000	7,900,000	0
建物	11,330,000	11,330,000	0
減価償却累計額 △	3,263,040	2,855,160	△ 407,880
基本財産合計	15,966,960	16,374,840	△ 407,880
(2)特定資産			
(3)その他固定資産			
什器備品	1,899,975	3,390,153	△ 1,490,178
減価償却累計額 △	1,414,872	2,898,482	1,483,610
その他固定資産合計	485,103	491,671	△ 6,568
固定資産合計	16,452,063	16,866,511	△ 414,448
資産の部合計	33,137,084	32,098,048	1,132,036
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	37,500	165,000	△ 127,500
流動負債合計	37,500	165,000	△ 127,500
2. 固定負債			
負債の部合計	37,500	165,000	△ 127,500
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	33,099,584	31,933,048	1,259,536
(うち基本財産への充当額) (15,966,960)	(16,374,840)	(△ 407,880)
(うち特定資産への充当額) (0)	(0)	(0)
一般正味財産	33,099,584	31,933,048	1,259,536
正味財産の部合計	33,099,584	31,933,048	1,259,536
負債及び正味財産合計	33,137,084	32,098,048	1,132,036

社団法人 鹿児島県放射線技師会

正味財産増減計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	0	30,000	
日本放射線技師会入会金	0	30,000	
受取会費	2,694,000	3,091,000	△ 397,000
鹿児島県放射線技師会会費	2,569,000	2,849,000	△ 280,000
準会員会費	20,000	60,000	△ 40,000
過年度正会員会費収入	70,000	28,000	42,000
次年度正会員会費収入	35,000	154,000	△ 119,000
事業収益	804,000	873,000	△ 69,000
研修会会費収益	0	0	0
広告収入	450,000	530,000	△ 80,000
環境測定事業収入	354,000	343,000	11,000
受取補助金等	528,120	294,620	233,500
受取民間補助金	528,120	294,620	233,500
受取負担金	483,500	734,000	△ 242,000
日本放射線技師会負担金	0	210,000	△ 210,000
九州地域放射線技師会会費負担金	184,000	204,000	△ 20,000
市医師会負担金	292,000	292,000	0
過年度日本放射線技師会負担金収入	0	15,000	△ 15,000
過年度九州地域放射線技師会会費負担金	5,000	2,000	3,000
次年度九州地域放射線技師会会費負担金	2,500	11,000	△ 8,500
雑収益	178,180	111,676	66,504
受取利息	484	1,676	△ 1,192
雑収益	177,696	110,000	67,696
前年度繰越前受金収入	165,000		165,000
経常収益合計	4,852,800	5,134,296	△ 281,496

社団法人 鹿児島県放射線技師会

正味財産増減計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	2,716,996	2,919,413	△ 202,417
事業対策費	302,315	428,798	△ 126,483
広報活動費	10,000	0	
調査事業費	18,000	0	18,000
講習会対策費	0	0	0
渉外対策費	21,363	0	21,363
旅費交通費	206,100	307,806	△ 101,706
表彰対策費	0	0	0
出版物頒布費	46,852	120,992	△ 74,140
学術研究事業	333,730	412,230	△ 78,500
鹿児島県学術大会費	95,490	83,000	12,490
生涯教育セミナー費	199,000	228,230	△ 29,230
学術助成金	30,000	30,000	0
管理士部会費	0	10,000	
夜間急病センター研修委託費	9,240	61,000	△ 51,760
支部助成金	390,000	440,000	△ 50,000
鹿児島支部助成金	150,000	150,000	0
川薩支部助成金	0	50,000	△ 50,000
大隅支部助成金	70,000	70,000	0
大島支部助成金	50,000	50,000	0
霧島始良支部助成金	50,000	50,000	0
南薩支部助成金	70,000	70,000	0
出版事業費	501,000	396,000	105,000
会報印刷費	501,000	396,000	105,000
小冊子印刷費	0	0	0
ニュース印刷費	0	0	0
福利厚生費	13,843	0	13,843
慶弔費	13,843	0	13,843
放射線啓発事業費	842,400	654,490	187,910
環境測定事業費	258,000	271,000	△ 13,000
ホームページ運営費	54,300	36,000	18,300
放射線展費	88,000	0	88,000
関連団体会議費	442,100	347,490	94,610
放射線管理士事業費	0	0	0
本部会費負担金	230,000	453,000	△ 223,000
九州地域放射線技師会費	230,000	228,000	2,000
次年度前受負担金支出	0	0	0
通信運搬費	47,370	79,825	△ 32,455
通信運搬費	47,370	79,825	△ 32,455
その他必要経費	56,338	55,070	1,268
保険料	0	0	0
租税公課	54,338	53,070	1,268
雑費	2,000	2,000	0

社団法人 鹿兒島県放射線技師会

正味財産増減計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	1,401,820	1,091,210	315,960
会議費	234,282	268,387	△ 34,105
総会費	191,890	247,898	△ 56,008
理事会費	3,548	7,520	△ 3,972
委員会費	16,468	11,289	5,179
支部長会費	22,376	1,680	20,696
部会会議費	0	0	0
旅費交通費	331,200	417,720	△ 86,520
会長会議旅費	182,000	286,920	△ 104,920
理事会旅費	44,000	13,500	30,500
委員会旅費	44,000	47,000	△ 3,000
支部長会議旅費	61,200	70,300	△ 9,100
部会会議旅費	0	0	0
需要費	474,305	76,799	402,856
什器・備品費	249,933	0	249,933
備品管理費	44,580	0	44,580
消耗品費	40,332	26,538	13,794
印刷製本費	95,880	20,000	75,880
通信運搬費	23,580	4,911	18,669
夜間急病センター通信費	20,000	20,000	0
部会通信費	0	5,350	△ 5,350
渉外費	0	0	0
役員渉外費	0	0	0
賃貸費	0	0	0
賃貸費	0	0	0
事務所運営費	152,856	151,904	952
維持管理費	80,310	79,358	952
雑費	0	0	0
保険料	72,546	72,546	0
租税公課	75,500	51,900	23,600
租税公課(固定資産税)	75,500	51,900	23,600
雑費	133,677	124,500	9,177
雑費	133,677	124,500	9,177
次年度会費繰越金	35,000	154,000	△ 119,000
次年度負担金繰越金	2,500	11,000	△ 8,500
減価償却費	414,448	830,431	△ 415,983
経常費用合計	4,570,764	5,006,054	△ 429,940
当期経常増減額	282,036	128,242	148,444

社団法人 鹿児島県放射線技師会

正味財産増減計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額 (未収金)	884,500		
当期一般正味財産増減額	282,036	128,242	148,444
一般正味財産期首残高	31,933,048	31,804,806	128,242
一般正味財産期末残高	33,099,584	31,933,048	276,686
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	33,099,584	31,933,048	276,686

社団法人 鹿児島県放射線技師会

財産目録

平成22年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,290,021		
現金	1,488		
鹿児島銀行普通預金	1,539,848		
定期郵便貯金	5,899,000		
郵便振替口座	7,849,685		
未収会費	1,302,000		
未収負担金	93,000		
流動資産合計		16,685,021	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地(132.24m ²)東坂元4丁目28-11	7,900,000		
建物(67.9m ²)木造スレート葺き2階建て	11,330,000		
減価償却累計額 △	3,263,040		
基本財産合計	15,966,960		
(2) 特定資産			
特定資産合計		0	
(3) その他固定資産			
什器備品	1,899,975		
減価償却累計額 △	1,315,971		
除却による財産減	98,901		
その他固定資産合計	485,103		
固定資産合計		16,452,063	
資産の部合計			33,137,084
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
前受金	37,500		
流動負債合計		37,500	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債の部合計			37,500
正味財産			33,099,584

平成21年度監査報告書

平成22年6月1日

社団法人 鹿児島県放射線技師会
会 長 池 田 陸 殿

社団法人 鹿児島県放射線技師会
監事 鮫 嶋 宗 俊
監事 西 元 広 男



社団法人鹿児島県放射線技師会定款第14条第4項に基づき、平成21年12月14日中間監査ならびに平成22年6月1日の2回にわたり社団法人鹿児島県放射線技師会事務所において、平成21年度会務監査および会計監査を実施し協議の上、平成21年度の監査報告書を作成したので、以下のとおり報告する。

記

1. 会務監査

業務執行状況の監査に関しては、理事会に出席して担当理事の会務報告ならびに審議事項を聴取するとともに総会決議事項および理事会の議事録を閲覧した結果、平成21年度事業計画に基づき順調に執行運営されていることを認める。

2. 会計監査

財務状況の監査に関しては、収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は間違いなく適正に処理されていることを認める。

3. 総評

(1) 平成21年6月4日(木)～6日(土)の3日間かごしま県民交流センターにおいて韓国、台湾を含め1,197名が出席して開催された学術大会は各県持ち回り開催であり社団法人鹿児島県放射線技師会にとっても長年の課題であったが、第25回という節目の時に開催することができ社団法人日本放射線技師会の一員としての社団法人鹿児島県放射線技師会の責務を果たすことができたと考えます。また、学術大会が大きな問題もなく順調に開催でき大きな成果を残すことができたことは、社団法人鹿児島県放射線技師会組織委員の献身的な努力の賜と評価する。

(2) 新制度の「公益社団法人」への移行には定款改正が必要であり、執行部が鋭意取り組んでいる事に対し高く評価する。定款改正の他、公益目的事業比率が50%以上、経理的基礎及び技術的能力を有すること等ハードルも高いが、社団法人鹿児島県放射線技師会が社会的信用を得られる団体として存続できるよう要望する。

以上

平成21年度鹿児島県放射線技師会春季学術大会 第86回 通常総会

日時：平成22年3月14日（日） 9：00～12：40

会場：鹿児島大学医学部保健学科 共通教育棟 6階 インテリジェント講義室

プ ロ グ ラ ム

会長挨拶：池田会長

会員発表： 座長 国立病院機構鹿児島医療センター 宮島 隆一氏

- ①「心臓カテーテル検査の防護衝立作成の使用経験」
鹿児島市医師会病院 内田 一正氏
- ②「骨セメント椎体形成術とIVRの有用性」
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 小屋 保浩氏
- ③「胃サルコイドーシスの一例」
霧島市立医師会医療センター 橋本 隆志氏
- ④「深部静脈血栓症におけるCT撮影法の検討」
今給黎総合病院 加治屋 博一氏
- ⑤「塩化ストロンチウム-89治療の使用経験」
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 齋藤 朋典氏
- ⑥「フィルムレス移行におけるPACS使用容量の推移」
鹿児島共済会南風病院 上床 達哉氏

通常総会：平成22年度事業計画及び予算について

特別講演：「アロマセラピー概論 ～メンタルケアの実践～」

ハーブ・アロマ ガトウリア代表 メンタルカウンセラー 藤井 志帆 先生

心臓カテーテル検査の防護衝立作成の使用経験

鹿児島市医師会病院 診療支援部
診療放射線室 内田一正

はじめに

近年、心臓カテーテル検査も心筋シンチや心臓CTなどいろいろなモダリティのおかげで検査のみでなく、治療が主のIVRになっています。IVRは、透視時間が増えて患者様の被曝だけでなく、術者、看護師などさまざまなスタッフの職業被曝が発生しています。

術者用の防護衝立や防護エプロンは天吊りタイプや心カテ機器に備付けてあったりと、市販されていますが看護師用防護衝立は大きく、結構場所を占領しています。

そこで、今回、この職業被曝の看護師の被曝低減を目指すためコンパクトな防護衝立を自作しましたので、その使用報告をします

当院の心カテ検査状況

表1に当院の心カテ400件の検査カテと治療カテ(IVR)の比較を示します。検査カテ270件に対し治療カテは130件と1/3であるが、一件当たりの平均透視時間の総数で比較すると検査カテが1500分に対し治療カテは3900分と約2.6倍となっています。どうしても、被曝線量が多い、この透視の際、術者および看護師用に防護衝立が必要になってきます。

当院の心カテ400件の検査カテと治療カテ(IVR)の比較 表1

	検査カテ	治療カテ
年間件数①	270件	130件
平均透視時間②	5分36秒	29分59秒
①×②	1500分	3900分

術者用衝立の状況

術者用防護用品として、衝立や防護エプロンがあります。図1～3が主に市販されています。



図1 術者用防護エプロン

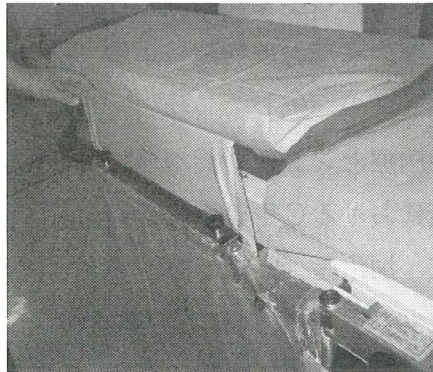


図2 術者用防護エプロン

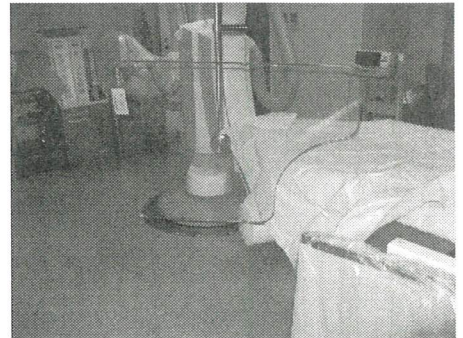


図3 術者用防護衝立

看護師要衝立の状況

術者用衝立、エプロンとは異なり、重い、移動困難、場所をとるなど問題も多いです。(図4～5)

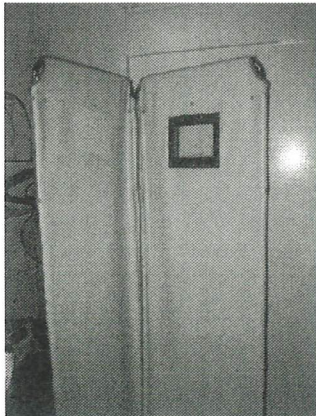


図4 看護師用防護衝立

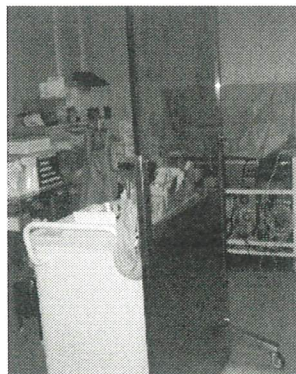


図5 看護師用防護衝立

今回作成した防護衝立

作成した看護師用衝立を図6～8に示します。



図6 作成した防護衝立



図7 作成した防護衝立

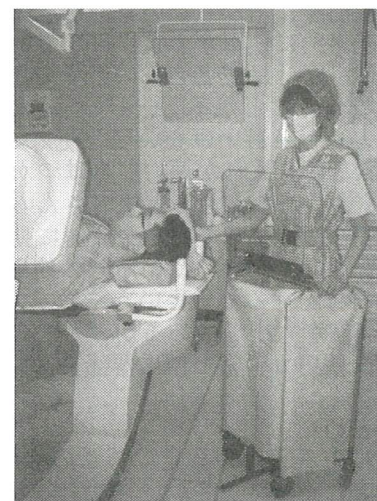
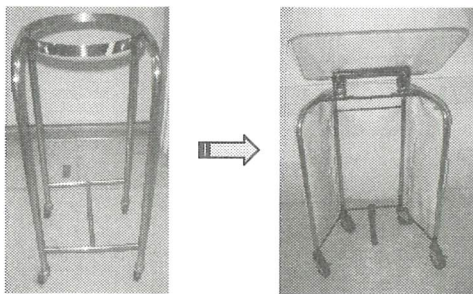


図8 作成した防護衝立使用時

衝立の各部の紹介



ベースは、ゴミ捨て場から拾ってきたベース受けです。

制作費

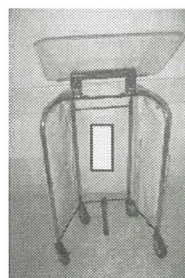
製作費は、含鉛ガラスは廃棄処分を再生利用、鉛プロテクターも廃棄処分の再利用、ガラス加工、等で、約25000円で製作できました。

- ガラス加工 約10000円
 - 溶接作業 約15000円(部品代含む)
 - 鉛プロテクター 0円
 - 含鉛ガラス 0円
- 約25000円

被曝低減状況

環境用ガラスバッチによる被曝を測定した結果を表2に示します。ガラスバッチを防護衝立の前と後ろ側に貼り付け、一月延べ線量を測定しました。約1年6ヶ月の合計線量が、防護衝立の前が139.7mSvに対して後ろ側は26.1mSvと約1/5に低減していることがわかります。

ただし、衝立のみCアームに置きっぱなしという状況もあったので、看護師の実際の被曝がここまで低減できてるかは過大評価になっているかもしれません。



環境用ガラスバッチによる被曝状況 表2

	防護衝立の前	防護衝立の後
2008年10月	6.2	1.0
2008年11月	4.2	1.8
2008年12月	10.9	2.7
2009年1月	18.8	4.7
2009年2月	13.7	2.3
2009年3月	12.8	1.5
2009年4月	5.9	0.9
2009年5月	10.4	0.9
2009年6月	データ不詳	データ不詳
2009年7月	10.1	1.2
2009年8月	10.4	4.4
2009年9月	10.0	1.4
2009年10月	7.5	0.9
2009年11月	6.2	0.8
2009年12月	4.7	0.7
2010年1月	7.9	0.9
合計	139.7	26.1

カテに入る看護師の意見

- コンパクトで使いやすいが、患者観察時不便に感じることもある。
- 放射線に当たらないように意識することが多くなった
- 基本的に使用するようになっているが、患者第一で動くため自分のことを考えていられないときがある
- 使うときは患者さんの近くで患者さんへの看護をしている時だと思うのですが、患者さんの対応時、急を要することが多く、そのときは患者さん第一で動かないといけないし、特に緊急カテなどすぐ対応しなければいけない場合使えていない。
- 緊急時や流れが速いときはつかえてないが、それ以外はなるべく使用している
- 緊急カテなどさっと患者さんのところに行き、さっと防護衝立にかくれる大きい方を使っている
- 最初は使用していたが敏速に動いたり、対処しないといけないときに不便を感じた
- 普通にカテをしている時は使用しているが、急な対応も多く、その際は使用していないのが現状。しかし自分を守るためということで、できるだけ使用に心がけています
- 衝立が大小二つあるが、どちらか一つあればいい。色々あると物品が取り出しにくい。(4m×7mの日本一狭いカテ室と循環器部長はいつも言ってます)

まとめ

現場の看護師の意見は、この様に、いい面（防護に対する意思向上）もあり、また、衝立が2つあることで邪魔になってしまい、特に救急時には使ってなかったこともわかった。今後、このような色々な意見を反映して、看護師、医師の放射線防護を啓発していきたいです。

骨セメント椎体形成術と IVR サポートの紹介

鹿児島大学病院 小 屋 保 浩
中 島 祐 二
池 田 睦

背景

高齢化社会に伴い日本人の1千万以上の方が骨粗鬆症の持ち主だと言われています。骨粗鬆症により前腕骨や大腿骨の骨折の他に、椎体の変形や椎体の圧迫骨折が起こります。

圧迫骨折を有する患者さんの多くは無症状ですが、約 30% - 40%の方は激痛で痛み、長期にわたる臥床と鎮痛剤投与を余儀なくされます。また、痛み自体が緩和しても、歩行困難、起立困難、ADL や QOL の低下に悩まされていましたが、90 年代後半ごろから局所麻酔で経皮的に椎体を固定する治療が欧米を中心に始まりました。

除痛のメカニズム

- ・セメント固定による椎体の安定
- ・セメントの重合熱による神経への影響
- ・Monomer 液による神経への影響（化学毒性による神経末梢の破壊）

除痛機序は完全には明らかになっていません。

適応

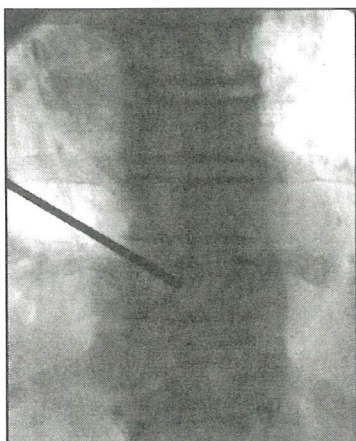
- ・骨粗鬆症の圧迫骨折による疼痛緩和（痛みを伴わない陳旧性の圧迫骨折を除く）
- ・椎体の腫瘍（癌の転移など）による疼痛緩和

※骨膜刺激による痛みが対象となり、神経が圧迫されて生じる神経痛などには適応されない。

使用機器と使用材料

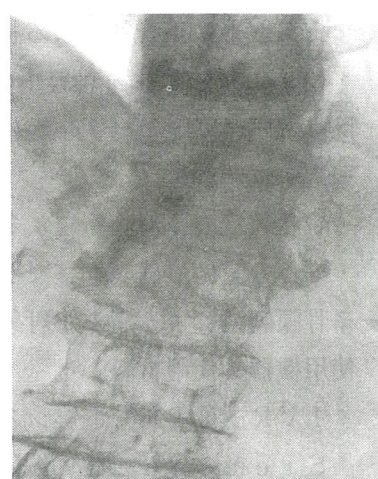
- ・IVR-CT血管造影システム
Siemens社 AXIOM Artis BA+SOMATOM Emotion6
- ・穿刺針
Cook社 Osteo-Site Bone Biopsy Needle MurphyM2
-13G-10cm or15cm
- ・骨セメント
ZIMMER社 BONE CEMENT_DOUGH-TYPE、滅菌バリウム
- ・骨セメント注入器具:
Boston Scientific 10ml Leveen Inflator

刺入方法と目標点



椎体前後径の腹側から 1/3 の点を目標に針を進めていく。

I V R サポート

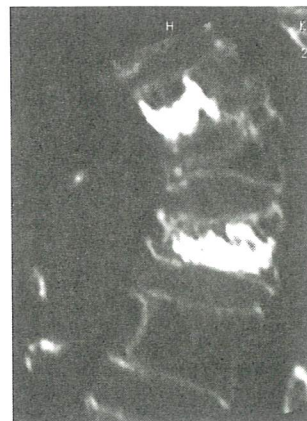
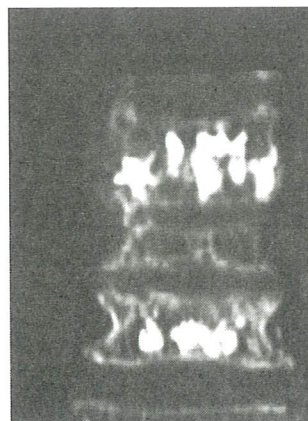
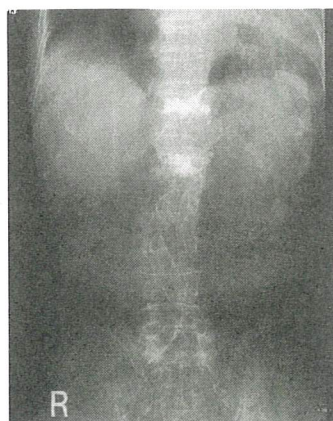


頭尾方向：刺入角度の計測

左右方向：胸椎 20° 腰椎 30°

椎弓根に沿って Bull's-eye になるようにはりを進める。

施行後



単純写真

CT MPR 像

副作用

- ・ 穿刺部周辺の血腫形成
- ・ セメント漏出や穿刺による末梢神経障害、骨髄症状
- ・ 静脈漏出による肺梗塞
- ・ セメント製剤による一過性の血圧低下、アレルギーショック、心機能の低下、不整脈

まとめ

骨セメント椎体形成術は、椎体の alignment にあわせた正確な正面側面像を得るため、あるいは治療後速やかに骨セメントの広がりをCTで確認するためIVR-CT室で施行されるのが一般的である。1椎体30分程度の治療時間を要し、一見簡便で単純な検査のように思われがちである。しかし針の軌道を確認したCTMPR画像などより重篤な合併症をきたす可能性のある検査であることがわかります。そのため我々診療放射線技師の正確なポジショニングや計測を含めた迅速なIVRサポートの必要性が示唆される。

胃サルコイドーシスの一例

霧島市立医師会医療センター

○橋本隆志 田崎夕里 福元 健 塩屋晋吾
佐々木崇 坂口右己 中村克也 平賀真雄

【病歴】

症例 39才男性

主訴 二次検診の目的

現病歴 2007年5月の会社検診のMDLで異常を指摘され精査の目的に当院を受診した。
自覚症状なし。

身体所見 KT37.1℃ BP105/74mmHg HR85回/min SpO2 97%

意識清明。結膜貧血なし。黄疸なし。胸腹部特に問題なし。

頸部・鎖骨上リンパ節触知せず。浮腫なし。

既往歴 1997年；肺サルコイドーシスの診断（この時は自然寛解）

【検診MDL（2007年5月下旬）】



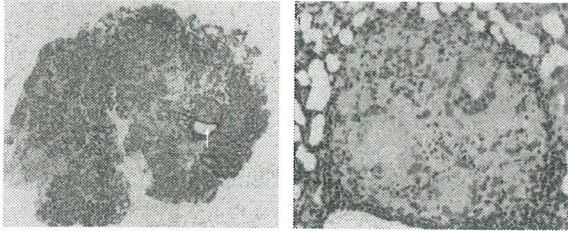
体下部大湾よりの fold 内に不整形な Ba の溜り像とヒダの走行異常が見られ一部集中の様に見えるところもあります。圧迫では硬い印象はありません。

【上部内視鏡検査（2007年7月上旬）】



胃内は萎縮が著明で、凹凸所見が目立っており、白苔を有する陥凹部を認めています。色素散布像では体下部大湾にヒダ集中を伴う癆痕様所見が多発していますが、悪性を疑うものではありません。また、ヒダの先端は丸みを帯び腫大しているように見られます。

【生検組織】



内視鏡検査で胃体部大わんの粘膜ひだ集中と陥凹を認める部位から生検を行いました。乾酪壊死のない類上皮細胞を伴う肉芽腫の形成を認めます。

【その他 画像検査】

CFは粘膜面 正常。

胸腹部CTでは縦隔リンパ節が1カ所腫大しているのみで、肺野・腹部は特に指摘なし。

2007年の検診心電図でVPCも指摘されていましたが、心エコー・ホルター心電図にて心サルコイドーシスを疑う所見は特にありませんでした。

【検体検査所見】

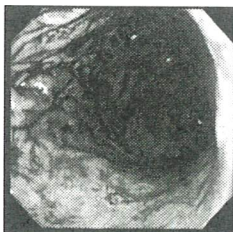
WBC 6500/ μ l RBC 508/ μ l Hb 15.5g/dl Hct 46.2% Plt 21.4万/ μ l
 T-Bil 0.8mg/dl AST 17IU/l ALT 16IU/l LDH 129IU/l ALP 188IU/l
 BUN 128.mg/dl Cr 1.2mg/dl CRP 0.0mg/dl TP 7.3g/dl Alb 4.9g/dl
 ACE 15.8U/l (8.3-21.4) CEA 1.1ng/ml ESR(60)1.9mm, ESR(120)3.4mm
 クオンティフェロンTB陰性 尿素呼気試験 陰性

【診断】

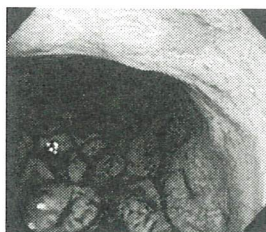
以上より、本症例は全身性サルコイドーシスの胃病変と診断されました。

本症例では open ulcer や胃周囲リンパ節の腫大は認められず、経過観察となりました。

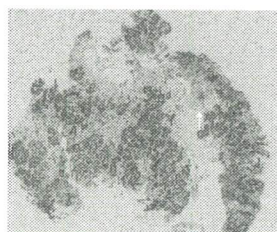
【フォローアップ上部内視鏡検査】



(3ヵ月後)



(2年後)



(2年後 生検結果)

3ヶ月後の上部内視鏡では、体下部の多発する陥凹性病変は著変なく、明かな活動性病変はありません。2年後の上部内視鏡でも、著変なく明かな活動性病変はありません。

【胃に肉芽腫性病変を生じうる疾患】

- | | |
|------------------|---------------|
| ・ 感染性 | ・ 腫瘍 |
| 結核 | 胃癌 |
| 梅毒 | リンパ腫 |
| アニサキス | ・ 異物 |
| 非定型抗酸菌症 | 縫合糸 |
| ヒストプラズマ | ベリリウム |
| H. P y l o r i ? | バリウム |
| ・ 特発性 | ・ その他 |
| Crohn 病 | アレルギー性肉芽腫性血管炎 |
| サルコイドーシス | 限局性アミロイドーシス |
| 特発性肉芽腫性胃炎 | リウマトイド結節 |

【胃サルコイドーシスのまとめ】

- ・ サルコイドーシスは原因不明の全身性肉芽腫性形成疾患で、有病率は 10 万人あたり 2.2 人
- ・ 高頻度に侵される臓器はリンパ節、肺、眼、心、皮膚、肝であり、胃病変は全サルコイドーシスの約 0.8%。
- ・ 胃サルコイドーシスは、胃以外に病変を認めない胃限局性サルコイドーシスと、全身性サルコイドーシスの部分症とに分類される。
- ・ 平均年齢 43.5 歳 (15~82 歳)、男女比 1 : 1
- ・ 透視所見；壁の進展不良、多数のヒダ集中、多数の潰瘍瘢痕、厚いバリウム班
- ・ 内視鏡所見；多発潰瘍やびらん、スキルスを疑わせる粘膜の肥厚や硬化、結節性隆起性病 (内視鏡所見がなくても生検で 10% に肉芽腫を認めるという報告もある)
- ・ 肉眼像の違いは、肉芽腫の存在する深さによって生じると考えられている。
 - 粘膜下層に存在する→多発潰瘍や瘢痕、線状潰瘍が多いとされており、タコイボ様隆起や単発潰瘍の症例も見られる。
 - 筋層～漿膜・全層まで存在する→スキルス様の肥厚硬化や胃壁の浮腫が特徴。
- ・ 治療；に関しては、自然緩解もあるが、潰瘍性病変がある場合には胃潰瘍に準じた治療、さらに周囲リンパ節腫大を認めて自然緩解の傾向がない場合にはステロイドなど全身性サルコイドーシスに準じた治療を行ったという報告もある。

深部静脈血栓症における CT撮影法の検討

今給黎総合病院 加治屋 博 一

目的

- 当院では手術前の検査としてDダイマーが高値の症例でDVTの依頼が多い。そこで膝窩部静脈の目標CT値を得る為に必要な体重当たりのヨード量を検討する

方法

造影剤を50秒で一定注入し3分後に撮影した

両膝窩部静脈、総腸骨静脈分岐部直上のCT値を測定する

- ・ 体重<50kg：300mgI/ml：100ml 製剤
- ・ 体重≥50kg：300mgI/ml：150ml 製剤

得られたCT値と体重より膝窩部静脈の目標CT値を100HUと定めた時の体重当たりのヨード量を算出する

なぜ、目標の膝窩部静脈を100HUと定めたか？

- 一般的に下肢の血管周囲組織のCT値は約50~70HU、単純CTにおける血管内のCT値は約40~60HU、血栓のCT値は血栓の新旧により変化するが約30~50HUを示し、新しい血栓では70~90HUを示すものもあった
- 血栓と造影剤のコントラストや、血管周囲組織とのコントラストを考慮すると100HU以上は必要と考えた

考察

- 膝窩部静脈のCT値100HUを得るためのヨード量は約637mgI/kgであった
- 体重48kgまでは100ml製剤でCT値が100HUを越えると考えられたが、実際にはばらつきがあり48kg以下でも100HUを越えない例もあった
- 理由として個人の循環動態により撮影タイミングが異なると考えられ、経時的にCT値の測定を行うことで撮影タイミングの評価が必要であると考えた

結語

- 現在、造影剤の注入法でも可変注入法や、台形クロス法など様々な注入法が研究されている
- 当院では現在、DPC導入に伴い入院の造影剤にジェネリックを使用しており300mgI/ml:150ml製剤の使用が出来ない為370mgI/ml:100ml製剤での検討も試みたい
- 今回の検討を踏まえ、まだまだ描出能が改善する可能性があるため今後も検討を重ねていきたいと考えた

89Sr 治療の使用経験 ～当院での治療準備から開始まで～

鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門

○齊藤 朋典 ・ 松本 俊也 ・ 池田 睦

＜背景＞1980年初頭から悪性新生物が死因別死亡率で第一位となり、増加傾向にある。闘病経過中に発生する骨転移による疼痛緩和の重要性が、患者数増加とともに高まっている。当院では有痛性骨転移の疼痛緩和における塩化ストロンチウムの治療を行っている。診療開始にあたり必要な管理と、当院で新たに準備したものについて紹介する。

＜89Sr の特性＞薬品名はメタストロン注、3.8ml バイアルで 141Mbq、物理的半減期 50.5 日でβ線放出核種である。骨ミネラル構成成分のCaと同族体であり造骨細胞によるコラーゲン合成とミネラル化に依存して骨転移部位周辺の造骨活性を示す部位に集積すると考えられている。これにより、骨転移病巣は局所に照射されるため正常骨髄への被ばくは骨転移部位の約1/10と少なく、単回投与で全身の骨転移部位を照射する事ができるので多発性骨転移に有効である。

＜効能又は効果＞固形癌患者における骨シンチグラフィで陽性像を呈する骨転移部位の疼痛緩和

＜禁忌＞ 重篤な骨髄抑制のある患者。 妊娠又は妊娠している可能性のある婦人。

＜適応患者の選択基準＞以下のとおりで全ての項目を満たさなければならない。

- 固形癌が確認された患者
- 骨シンチで多発性骨転移が認められた患者
- 骨シンチの取込み増加部位と一致する多発性の疼痛部位を有する患者
- 非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)やオピオイド及び従来の鎮痛補助薬では疼痛コントロールが不十分な患者
- 外部放射線治療の適応が困難な患者
- 余命が1ヶ月以上を見込める患者
- 十分な血液学的機能を有する患者

＜臨床的特徴＞効果の発現は投与後1-2週間後にみられる。症例によっては4週間ほど要す。重要な副作用としては投与後3日以内にペインフレアと呼ばれる一時的疼痛増強が発現する場合がある。通常は2-5日で消失するが必要に応じ鎮痛薬の増量などの処置をする。骨髄抑制は血小板及び白血球の減少が主で投与前の2、3割低下する。したがって定期的に血液検査を行って骨髄抑制に関しモニタリングが必要である。

＜実施施設の要件＞

- 医療法施行規則に規定されている診療用放射線同位元素の取り扱いに関する基準が遵守されている診療用放射性同位元素使用室、その他設備を整備していること。
- 使用核種ストロンチウム-89の届出を提出していること。
- がん化学療法、放射線治療、緩和医療及び核医学診療に十分な知識、経験をもつ医師が勤務していること。
- 本治療法について、日本アイソトープ協会及び関連学会が主催する安全取り扱いに関する講習会を受講した施設であること。

<施設基準>

- 管理区域境界:実効線量:3月間につき1.3mSv以下、表面密度:4Bq/cm²(α 線を放出しない核種)以下、 空気中の濃度:3月間の平均濃度が限度の1/10以下
- 診療用放射性同位元素使用室:画壁等は、その外側における実効線量が1週間につき1mSv以下
- 事業所の境界(院内の人が居住する区域も含む):3月間に250 μ Sv以下
- 病室(入院患者):3月間につき1.3mSv以下

<当院での届出の変更>当院では予定数量を変更した。

最大貯蔵予定数量: 900MBq→1800MBq

1日の最大使用予定数量: 150MBq→300MBq

3月間の最大使用予定数量: 925MBq→6000MBq

年間の最大使用予定数量: 3700MBq→24000MBq

89Srの場合1バイアル141MBqで当初は3月間の最大使用予定数量が925MBqで計算すると月2例しかできないことになっていたので6000MBqに増やして月14例ほどできるように変更している。

<台帳管理>

- 入手、使用、保管、廃棄に関する帳簿(放射性医薬品使用記録簿)
- 放射線障害のおそれのある場所の測定及び記録
- 放射線診療従事者被ばく線量当量の測定及び算出の記録
- 電離放射線健康診断個人票
- 放射性医薬品を投与された患者の退出に関する記録

<退出基準>

- ① 公衆に対しては1年間につき1mSv
- ② 介護者(被ばくを承知の上で患者の介護、慰撫にあたる家族や訪問者など。患者を訪問する子供は除く。)については、患者及び介護者の双方に便益があることを考慮して1行為当たりの線量拘束値5mSv
- ③ 患者を訪問する子供については1行為当たり1mSv
退出基準は上記のように3つ定めるがストロンチウム-89を用いた場合は、200MBq以下のときに退出が認められるのでストロンチウムの場合は最大投与量が141MBqであり、この時点で退出基準を満たしており入院の必要なく外来治療が可能である。

< β 線の測定>当院で使用している測定器

①表面汚染測定器

GMサーベイメータ: β (γ) SURVEY METER(アロカ) 型名:TGS-121

②排水:サンプリングによる測定(業者委託)

GM計数管装置(アロカ) 型名:JDC-1137

③排気:業者委託

④投与量測定 キュリメータ(アロカ) 型名:IGC-7E

<放射性汚染物の廃棄について>89Srによって汚染された「可燃物」、「難燃物」、「不燃物」、「残液入りバイアル瓶」を分別せずに専用内容器に収納する。89Sr以外の核種の混入は不可。

<入院患者のオムツの管理>家庭では管理区域から出ているので一般ゴミとして取り扱うが入院患者の場合、管理が必要（下限数量：Sr89 では 1 Mbq 以下）。

投与後日数			オムツ1個に含まれる放射能と投与後日数						
			1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
投与後の平均尿中排泄率(n=6)			6.1%	3.0%	2.5%	1.6%	1.3%	1.1%	0.9%
投与量 (MBq)	オムツへの	オムツ交換回数	(MBq)	(MBq)	(MBq)	(MBq)	(MBq)	(MBq)	(MBq)
	尿漏れの割合	(回/日)							
141	100%	6	1.4	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2
120	100%	6	1.2	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2

オムツ 1 個に含まれる放射能と投与後日数の表から、最大投与量の 141 MBq の場合で、1 MBq を超えるのは 1 日目だけなので、安全面を考量しても投与後 2 日目までのオムツを管理すれば以降の分は通常の感染性廃棄物として取り扱って問題ないと考えられる。

<まとめ>塩化ストロンチウムの治療は外来治療が主体で放射線技師としては管理がメインである。治療開始に伴い設備投資、備品購入が必要になる場合がある。医療報酬は薬品のコストしか認められておらず諸費用は施設負担であり、実施施設も県内 4 施設と少ないのが現状である。しかし 4 月より治療管理料が 1700 点つくことになり収益も上がることが期待される。医学の進歩で癌患者の生存期間が延びており、疼痛緩和を望む人も増えてくると思われるので QOL 向上のために今後 Sr 治療も増える事を期待している。

<参考文献>有痛性骨転移の疼痛緩和における塩化ストロンチウム-89 治療の適正使用マニュアル 第 4 版

PACS における容量予測と実際の比較検討

鹿児島共済会 南風病院

○上床達哉 白石朋之 石本裕二 有菌良一 伊原孝志

背景：近年、検査機器の性能向上に伴って各検査におけるデータ量も増加の傾向にある。

各検査の画像データは DICOM データとして PACS に保管されるが、PACS には容量が存在し日々の膨大な検査データの蓄積には限界がある。

目的：当院の PACS が導入から三年半経過し、導入当初の予測である三年を経過しても容量に余裕があった為、導入時と現時点での容量の推移を検討

機器：Centricity (GE 横河メディカル) 導入が 2006 年 7 月、容量 16.8TB：可逆 1/3 圧縮

方法：導入の 2006 年 7 月から 2009 年 12 月までの検査件数ならびに検査データ量を集計し、検査件数と検査データ量の相関関係・導入当初の予想と現時点での PACS 容量の比較を行った。

結果：導入時、モダリティーの増加も踏まえて予想容量を大きく見積もっていたため、3 年で 18TB の容量を満たす予想であったが、実際にはおよそ 14TB 程度となり月 350GB 使用したとして 4 年近くまで使用できる余裕がある。

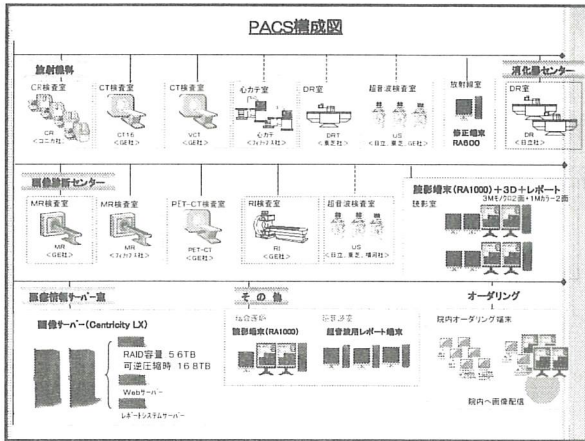
検査数は 5500 件～6000 件の予想に対して実際は 5000 件程度となっているものの、容量に関しては導入当初 5%程の伸び率で予想していたが、実際には 15～18%若干の伸びがある。

特に他院からの画像データ取り込みが本格化されてきた 2009 年前期から大きくデータ量が増加しており、以前が月 200GB 程度だったのに対して現在ではおよそ 250GB の容量を占めている。

考察：予定よりも半年以上、PACS の容量が余裕のあった理由としては、導入時の予想が実際の検査件数よりも若干大目に推定していたことと、年間 5%の伸びを予想して試算しているためである。

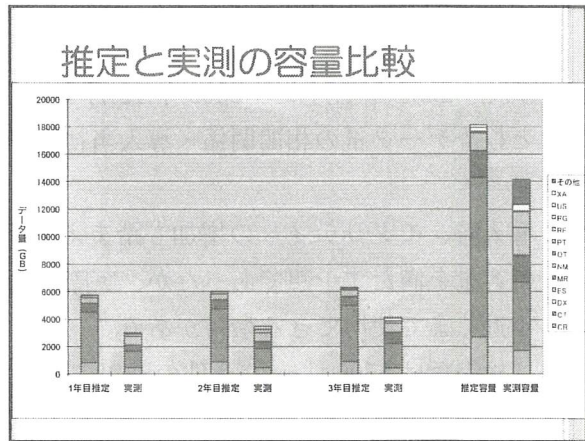
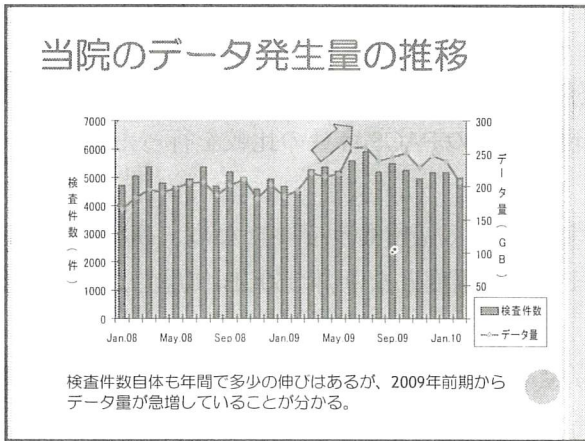
また近年の検査データの急増は単なる検査件数の増加のみでなく、増加の兆候と重なる時期に他院からの画像データ取込が本格化したことから、これらの要因が強く関わってくるものと考えられる。

結語：検査機器の性能向上により、検査件数あるいはそれに伴う画像データは増加をしている。データ量は単純な検査件数のみではなく撮影プロトコルや外部からのデータ取り込みによっても増加していく為、導入に関しての綿密な検討はもちろんのこと導入後も定期的な PACS の容量把握などが今後の画像管理の上で非常に重要と思われる。



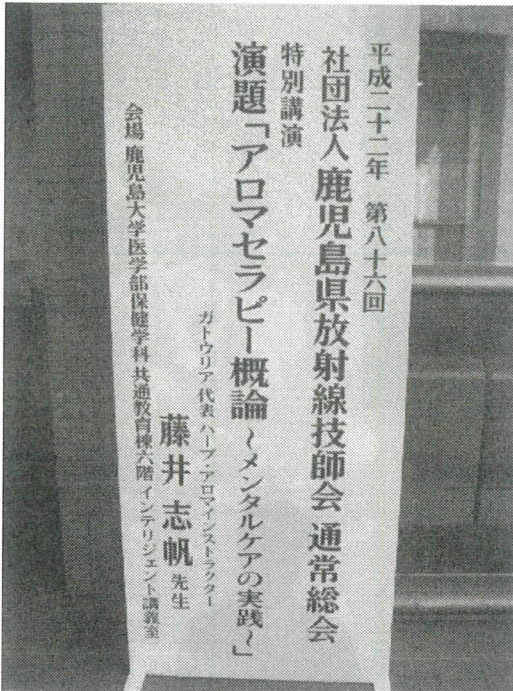
推定と実測の容量比較

	導入時推定データ量				3年経過時実測データ量			
	1年目 年毎 平均容量 (GB)	2年目 年毎 平均容量 (GB)	3年目 年毎 平均容量 (GB)	3年経過 平均容量 (GB)	1年目 年毎 平均容量 (GB)	2年目 年毎 平均容量 (GB)	3年目 年毎 平均容量 (GB)	3年経過 平均容量 (GB)
CR	885.34	908.61	934.04	2,727.99	923.31	434.13	403.21	1,760.65
CT	3,675.97	3,658.82	4,051.76	11,386.55	1,208.49	1,387.71	1,763.85	4,359.95
DX	13.25	13.95	14.65	41.85	2.28	7.08	9.65	18.99
ES	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
MR	631.28	631.44	663.02	1,895.74	419.28	460.35	605.41	1,485.04
NM	0.18	0.82	0.86	2.46	8.52	50.70	7.14	66.39
OT	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	0.87	0.33	1.44
PT	418.48	437.29	439.14	1,314.91	618.09	621.51	675.24	1,914.84
RF	31.83	23.43	35.16	100.52	168.81	232.21	175.20	1,182.24
RQ	0.00	0.00	0.00	0.00	26.32	23.67	0.30	50.29
US	93.66	98.34	103.26	295.26	65.31	170.01	194.34	454.19
XA	53.14	55.83	58.53	167.50	7.41	28.47	33.24	69.12
								1,712.62
	5,151.01	6,038.56	6,340.49	18,120.06	3,028.32	3,487.71	4,133.76	14,154.83



導入予定時データ試算

ModelNo	製品 サイズ	容量 増大 (GB)	圧縮 率 (%)	検査 件数 /検査	検査 件数 /日	年間 検査 件数	1年目				
							年平均 検査 件数 /日	年平均 容量 増大 (GB)	年間 容量 増大 (GB)	年間 検査 件数 (件)	
1 CR×4	2500-2000	9.54	4.77	1	11	1%	350	227	1.63	92,877	665.34
2 DF	1024-1024	2.00	1.00	1	1	1%	26	0.05	0.03	6,789	13.29
3 KA	1024-1024	2.00	0.67	1	2	5%	102	0.20	0.07	27,157	53.14
4 CT (1+1)	512-512	0.50	0.17	5×6	15	5%	7,686	3.78	1.28	2,036,783	1,002.29
5 MR (1+1)	512-512	0.50	0.25	10×5	15	1%	20,496	10.09	3.06	5,431,423	2,672.78
6 NM	512-512	0.50	0.25	10×5	15	1%	2,306	1.13	0.37	611,035	300.69
7 MR	512-512	0.50	0.25	10×5	15	1%	2,306	1.13	0.37	611,035	300.69
8 NM	128-128	0.02	0.01	20	15	1%	134	0.00	0.00	40,736	0.78
9 US (Single)	640-480	0.88	0.44	21	15	1%	205	0.18	0.09	54,314	46.83
10 消化器増大	1024-1024	2.00	1.00	1	1	1%	61	0.12	0.06	16,294	31.89
14 CT (1+1)	512-512	0.50	0.17	10×5	15	1%	3,074	1.51	0.51	814,713	409.92
15 NM (1+1)	128-128	0.02	0.01	10×5	15	1%	3,074	0.06	0.04	814,713	15.54
US (Single)	640-480	0.88	0.44	21	15	1%	205	0.18	0.09	54,314	46.83
15											
M											
Total				251			40,045	21.70	10.02	10,612,183	5,751.01



講演会座長 池田会長



講師 藤井志帆先生



座長 宮島隆一氏



新村副会長 開会の挨拶



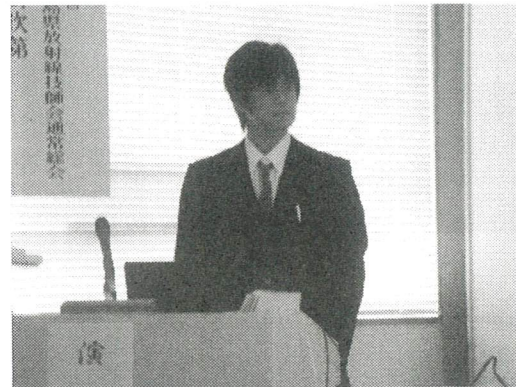
進行 藤崎理事



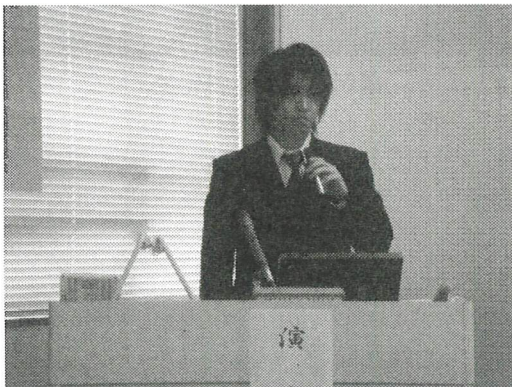
池田会長 挨拶



内田 一正 氏



小屋 保浩 氏



橋本 隆志 氏



加治屋 博一 氏

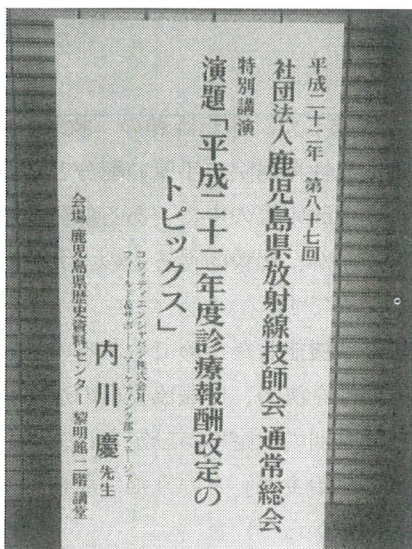


斉藤 朋典 氏



上床 達哉 氏

第 87 回 総会 特別講演



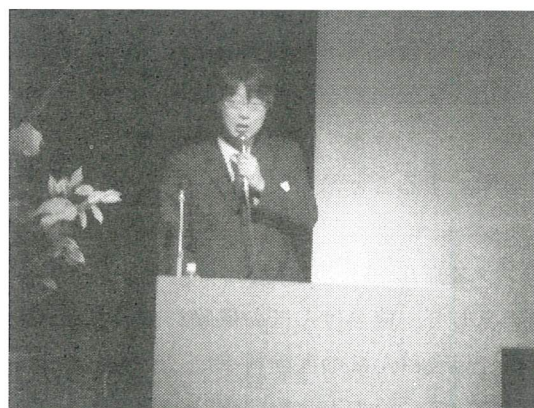
87 回 総 会



池田会長 挨拶



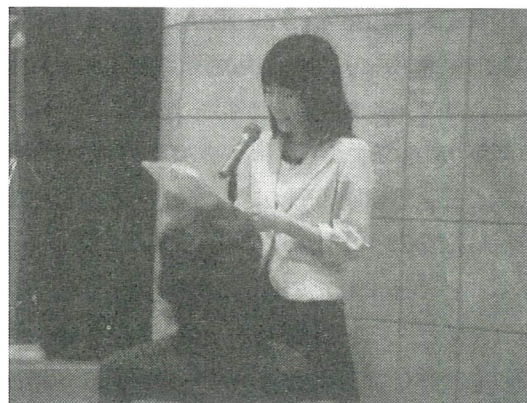
座長 石本理事



講師 内川 慶 先生



開会の挨拶 新村副会長



進行 今田万里代 氏

2010年診療報酬改定 ～放射線科領域のトピックス～

コヴィディエンジャパン(株)
内川 慶

【はじめに】

2010年4月診療報酬改定は、これまでになく濃淡のはっきりした改定となりました。重点課題の「救急・産科・小児・外科等の医療の再建」と「病院勤務医の負担の軽減」を図るべく、急性期病院に手厚い配分となりましたが、ここまでは異論は少ないように思われます。ただ、今回のように小さな改定幅の中で、ある部分を手厚くすれば、その残金がかなり少なくなることを意味します。となれば、当然ですが、比較的得るものの大きかった「濃」の評価は概して高く、その一方で「淡」の側に概して不満が残ったようです。

今回、これまでになく「濃淡」がついた理由は、「政治主導」という仕組みが機能したためでもあるのでしょう。厚生労働大臣のもとに診療報酬改定の「検討チーム」を作って改定の方向性を決め、中医協委員の選出ルールと構成を変え、改定率決定時には改定の方向性を事前に規定すべく入院・外来別の改定率が設定されました。とはいえ、「政治主導」ならすべて良しというわけではありません。（単に「政治主導」というだけなら、ここまで社会保障制度を疲弊させたあの小泉政権もまた「政治主導」であったのですから…）。

今回の「政治主導」の手法についても評価は分かれています。「濃」の側が概して肯定的であるのに比べ、「淡」の側にはあまり恣意的過ぎるとして批判も多いようです。単に損得だけの問題ではないのでしょうか。要は、「十分な議論」がなされているか、「納得できる根拠」があるか、その先に「望ましい方向性」が見えるかどうかです。それが政権交代からわずか半年という短期間でどこまで実現できたか、ということなのでしょう。

今回の改定は医療崩壊を立て直す方向への第一歩です。この第一歩が「救急処置」だとすれば、今後は「手術」が必要となってきます。2012年の医療・介護同時改定での「手術」に向けて、まず2010年改定を「精密検査」し「診断」することにしましょう。

【改定率プラス幅 0.19%の根拠】

別の要素として、協会けんぽの保険料率の問題がありました。この経済状況で協会けんぽの保険料率は、8.2%から9.94%まで上がると試算されていて、その上診療報酬が1%上がると保険料率は0.06%上がる計算から、法的な限度である10%を超えてしまいかねません。それで、診療報酬を1%以上引き上げるのは無理だという判断となりました。国費を大量に投入しない限り、法的に無理でした。

さらに別の視点もあります。医療関係者はみな、日本の医療費は安いということでコンセンサスが得られていますが、国民の側は、

自己負担率が15.1%ですから、高いと感じているわけです。諸外国の平均は13～14%ですから、極めて高いわけではありません。しかし診療報酬のアップは自己負担増にもつながるわけで、そこを考えると難しいという判断です。

これで医療崩壊は食い止められるかどうかですが、今回の改定はその第一歩です。医療が医療崩壊とも言うべき崖っぷちに追い込まれたのは、医療従事者が減ってきたことが最大の要因です。2002年のマイナス改定以降、病院内の資格を持たない職員の方々がどんどん減ってきました。その結果、例えば、その方々が行っていた仕事を看護師さんが行い、その看護師さんの業務を医師が行うというような悪循環に陥っている。医療従事者を減らして医療費を抑制しようという政策の破綻です。これを転換させる必要がありました。そこで、今回の改定では、

	全体改定率	診療報酬改定率	薬価改定率	材料改定率
医療費ベース	+0.19%	+1.55%	▲1.23%	▲0.13%
	+約700億円	+約5,700億円	▲約4,500億円	▲約500億円
	+約160億円 (国庫負担)	各科改定率 内科：+1.74% (約4,800億円) 入院：+3.03% (約4,400億円) 外来：+0.31% (約400億円) 歯科：+2.09% (約600億円) 調剤：+0.52% (約300億円)	▲5.75% (薬価ベース) 通常改定、再算定 (市場拡大、長期収 斂等)	

勤務医の負担軽減策として、医師事務作業補助者体制加算の拡充や看護補助者の配置の充実など、医療職種間の連携推進を図る点数をつけました。

また、診療報酬とは別に、医学部の定員枠をこれまでで最も多い 8,846 名に拡大しました。また、今年度から、各地域にどの診療科の医師がどれだけ必要なのか、どれだけ医師が働いているのか——という全国調査が行われます。こうして医師確保策を徹底していくと同時に、その活用面で、いかに地域偏在をなくし診療科間の偏在をなくしていくか、いかに連携を組んでいくかが大事になってきます。

【画像診断の変更点】

今回の改定では表1の8項目が変更となりました。中でも基本方針の効率化余地がある領域に適正化/相対的に治療効果が低くなった技術等で2つが評価されました。1つはエックス線撮影料：アナログ撮影及びデジタル撮影の新設、そしてもう1つはコンピューター断層撮影診断料の見直しです。

エックス線撮影料の基本的な考え方は、デジタルエックス線撮影は、患者の被曝低減が可能であることや、画質改善や計測等の画像処理ができること。大量の画像データを少ないスペースで保管できることなど、アナログ撮影と比較して多くの利点を有している。また、平成21年度末をもってデジタル映像化処理加算が廃止されることを踏まえ、デジタル撮影料を新設し、アナログ撮影との区別を明確化する、となっています。これにより、表1の1、2が改定となりました。

コンピューター断層撮影診断料の見直しの基本的な考え方は、CT及びMRIについて、新たな機器の開発や新たな撮影法の登場などの技術の進歩が著しい状況にある一方で、使用機器の診断性能に見合った評価がなされていないとの指摘があることを踏まえ、画像撮影の評価体系を見直し、とされています。

これにより、16列以上のマルチスライス型CTによる撮影に対する評価を新設する。また、1.5テスラ以上のMRIによる撮影に対する評価を引き上げる、さらに、CT及びMRIの2回目以降の撮影料について、実態を踏まえた改定を行うと、表1の5、6、7が改定されました。

コンピューター断層撮影に係る点数一覧は表2のとおりです。

1. 撮影
 - デジタル撮影とアナログ撮影の区分分け
2. エックス線診断料
 - デジタル映像化処理加算の廃止
 - 電子画像処理加算の見直し
3. 写真診断
 - 乳房撮影点数の見直し
4. 造影剤注入手技
 - 嚥下造影の追加
5. CT撮影
 - 16列以降MSCITの区分新設・増点
 - 外傷全身CT加算の新設
6. MRI撮影
 - 1.5T以上MRIの増点
7. コンピューター断層撮影診断料
 - 同一月2回目以降のCT/MRI撮影料の見直し
8. PET、PET/CT
 - 悪性腫瘍の適用拡大
 - 施設共同利用率施設基準の見直し 表1

1回目	2回目	各検査ごとの加算		月1回
MRI 1.5T以上 1,330点	1064点	造影剤 使用加算 250点	心臓MRI加算 300点 画像診断管理加算2	電子画像 管理加算 一連の 撮影につき 120点 もしくは フィルム料 画像診断 管理加算 1: 70点 2: 180点
MRI 1.5T未満 1,000点	800点			
マルチ スライスCT 900点 16スライス以上	720点		冠動脈CT加算 600点 64スライス以上 画像診断管理加算2	
マルチ スライスCT 820点 2列以上16列未満	656点	造影剤 使用加算 500点	外傷全身CT加算 800点 64スライス以上 画像診断管理加算2 救命救急入院料	
シングル スライスCT 600点	480点			
脳槽CT 2,300点	1840点			
コンピューター 断層 診断料 450点				
月1回に限り算定				

表2

【手術項目 (IVR) の変更点】

我が国の外科手術の成績は国際的に高水準であるが、他の診療科と比較して負担が増加していることもあり、外科医指数は減少傾向にある。我が国における手術の技術水準を確保するため、手術料について重点的な評価を行うとしました。評価にあたっては、外科系学会社会保険委員連合（外保連）作成による「手術報酬に関する外保連試算」（以下「外保連試算」という。）の精緻化が進んでいるため、これを活用しました。

「外保連試算第7版」を活用し、外科系の診療科で実施される手術や小児に対する手術など、高度な専門性を要する手術をより高く評価しました。

(1) 評価対象手術

外科系の診療科で実施される手術の評価には病院勤務医の負担の軽減策という観点もあることから、主として病院で実施している手術を優先して評価されました。病院で実施されることが多い手術を対象とすると、手術項目数全体の半分程度を評価することができます。

(2) 手術料の引き上げ

外保連試算においては、技術度・協力者数・所要時間等を勘案し、それぞれの技術に応じた費用が産出されています。こうしたデータを踏まえ、現行点数と乖離が大きい一方で高度な専門性を要すると分類されている技術度区分E及びDの手術について、それぞれ現行点数の50%増及び30%増とすることを目安としつつ、個別の点数差については外保連試算を用いて整合を取ることにしました。

(3) 小児に対する手術評価

現行上、3歳未満の小児に係る手術については乳幼児加算が認められているが、3歳以上6歳未満の小児についても同様に高度な技術が求められることから、加算の対象年齢を6歳未満に拡大されました。

【放射線治療の変更点】

今回の改定において放射線治療は、がん医療の推進や手術以外の医療技術の適性は評価の点で大きな増点となりました。そのため積極的に放射線治療を行っている施設は、大きな増収となると思われます。地域連携を通じ積極的に行うことにより、病院評価向上にもつながると思われます。

【2012年改定は？】

7月の参議院選挙で民主党が大敗しました。これにより2年後の政権がどうなっているかによって、方向性は大きく変わってしまいます。最も心配なのが財源です。埋蔵金はもうほぼ使い果たしていますし、民主党は政権交代から4年間は消費税を上げないとも言っていました。たばこ税、事業仕訳で得られる財源もそう大きなものではありません。

同時に保険料の上限撤廃や、保険者間の保険料率の公平化により2兆~3兆円の財源が生まれると試算されています。しかし、それでも不十分なのでやはり消費税増税は考える必要があるといわれています。

2012年改定は介護保険との同時改定です。今回は急性期を手厚くしましたが、急性期から慢性期に切れ目があってはなりません。亜急性期、回復期以降の部分を手厚くしていく必要性もあるといわれており、後期高齢者医療制度に代わるものが現れることでしょう。

すでに2012改定に向けた話し合いが行われています。放射線学会においても、準備が着々と進められています。次回改定でも放射線関連に手厚い改定になることを期待しましょう。

記号No.	項目	改定前	改定後	
頭蓋脳	K178 脳血管内手術	1箇所 40,900	61,350	
		2箇所以上 81,800		
	K178-2 経皮的脳血管形成術	22,100	33,150	
K178-3	経皮的選択的脳血管・血栓溶解術	頭蓋内脳血管の場合	15,500	23,250
		頸部脳血管の場合 (内頸動脈・椎骨動脈)	11,100	14,430
胸部	K476 乳腺悪性腫瘍手術	注)の新設 乳がんセンチネルリンパ節加算(放射線同位元素使用)	5,000	
	K474-3 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)	3,400	4,200	
腹部	K837-2 経皮的腹腔内臓腫瘍ドレーナージ術(新設)		10,800	
	K889 経皮経肝胆管ステント挿入術	8,110	9,440	
腎	K763 経皮的尿路結石除去術(経皮的腎臓増設術を含む)	18,800	28,200	
	K765 経皮的腎盂腫瘍切除術(経皮的腎臓増設術を含む)	19,100	28,650	

記号No.	項目	改定前	改定後	
K550	冠動脈内血栓溶解療法	10,300	13,380	
K550-2	経皮的冠動脈血栓吸引術	15,000	15,110	
K556-2	経皮的太動脈弁拡張術	22,800	34,200	
K559-2	経皮的僧帽弁拡張術	22,800	29,640	
K561	ステントグラフト挿入術	胸部太動脈	39,600	56,580
		腹部太動脈	31,800	47,400
心臓血管	K567-2	経皮的太動脈形成術(新設)		34,200
		経皮的肺動脈弁拡張術	22,800	24,550
K570-3	経皮的肺動脈形成術(新設)		24,550	
K573	経皮的心房中隔欠損弁形成術(ランジュン法)		6,900	8,970
		経皮的カテーテル心筋焼灼術	20,900	項目変更
K595	心房中隔穿孔又は心外膜?? P-Pを伴うもの その他のもの		21,350	
		三次元カラーマッピング加算(新設)		26,440
			17,000	

記号No.	項目	改定前	改定後	
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	22,100	33,150	
K610-3	内シヤント又は外シヤント設置術 抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入埋込型カテーテル設置		10,700	
		開腹して設置した場合	13,600	17,940
K611	四肢に設置した場合		12,500	16,250
		頭頸部その他に設置した場合	12,600	16,640
K613	腎血管性高血圧症手術(経皮的腎血管拡張術)	24,700	29,580	
K615	血管塞栓術(頭部、胸部、腹腔内血管)	12,700	16,510	
K615-2	経皮的太動脈遮断術(新設)		1,390	
K616-3	経皮的肺動脈拡張術(先天性疾患術後に限る)		24,550	

河野 正人先生 叙勲祝賀会

当会会員の河野正人氏（元鹿児島市立病院 中央放射線室 主幹）が瑞宝双光章を受章されました。

日時：平成22年6月12日（土） 17：30～

会場：ホテル吹上荘（鹿児島市照国町18番15号 TEL：099-224-3500）

- 開会の挨拶： 池田会長
- 略歴紹介： 西本 孝市氏
- 来賓祝辞： 小川 臣人氏
- 記念品贈呈： 池田会長 贈呈
- 花束贈呈： 新村副会長・瀬戸和人氏
- 謝 辞： 河野正人氏
- 乾杯の音頭： 谷俊雄氏
- スピーチ： 鯨島宗俊氏
- 祝電披露： 今田万里代氏
- 万歳三唱： 岡田淳徳氏
- 司会進行： 今田万里代氏



表彰状と勲章



控え室にて



池田会長 挨拶



略歴紹介 西本孝市氏



来賓祝辞 小川臣人氏



目録贈呈



花束贈呈



謝辞



乾杯の音頭 谷俊雄氏



スピーチ 鮫島宗俊氏



← 万歳三唱 岡田淳徳氏



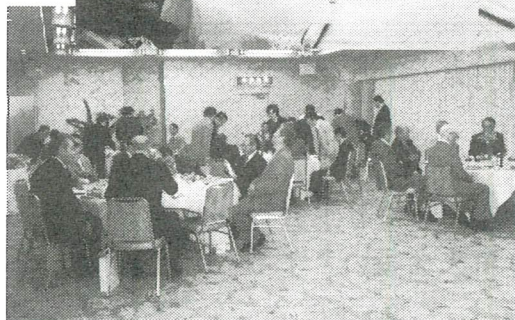
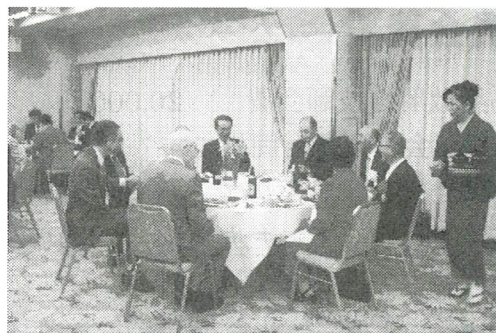
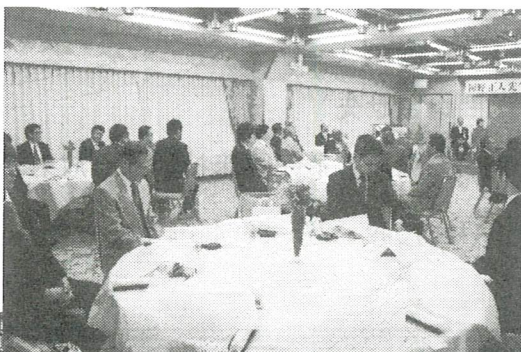
→ 万歳三唱風景



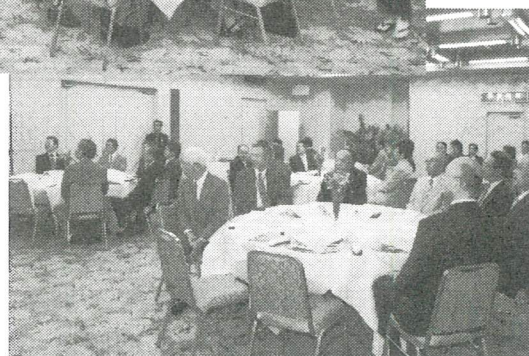
司会進行 今田万里代氏



受付け風景



会場風景



集合写真

会計だより

平成22年度会費について

■正会員会費

九州地域放射線技師会会費	500円
(社)鹿児島県放射線技師会費	7,000円
合計金額	7,500円

鹿児島県放射線技師会会費納入規定により当該年度の会費納入は9月30日までとなっております。

まだ納入されていらっしゃる会員の方は早急をお願いいたします。

○ 郵便振替払込の際は下の口座宛までお願いいたします。

[口座番号] 02030-3-12696

[加入者名] 鹿児島県放射線技師会

○ 銀行口座振込の際は下の口座宛までお願いいたします

普通預金口座

鹿児島銀行高見馬場支店

口座番号：675652

■準会員会費

(社)鹿児島県放射線技師会費 20,000円

○ 振込先は正会員会費と同様です

○ 受領証は発行しませんので、振替払込時の払込票で代用していただくようお願いします。

(備考)

問い合わせ先

鹿児島大学病院臨床技術部 放射線部門

(TEL)099-275-5664 中島まで

退会扱いに関して

退会扱いに関しては以下の通りとする

1. 多年度会費未納会員については、理事会の承認により退会扱いとする
2. 未納会費納入確認後、理事会の承認により再入会扱いとする
3. 当該年度会費納入期限は、9月30日までとし、当該年度会費を含む2年以上の会費未納をもって多年度会費未納会員とする
4. 退会扱いとなった会員は以下の権利の制限が発生する
 - ① 県会報、ニュースの発送停止
 - ② 技師会主催のイベント、研修会、セミナーなどの参加の制限
 - ③ 日本放射線技師会主催のイベント、研修会、セミナー参加の制限
 - ④ 夜間急病センター業務停止
 - ⑤ 総会等の議決権の停止

再入会扱いに関しては以下の通りとする

退会扱い会員は、未納年度会費を全て納入した時点で理事会の承認の上、全ての権利を回復する。ただし、退会扱い時の会報、ニュース等の再送付は行わない

編集後記

今年の梅雨は例年になく、長期間の集中豪雨でウンザリし、今年の夏は、例年より猛暑続きでウンザリでしたね！

皆さんは元気に乗り切れたでしょうか！

9月からは・・・過ごしやすい季節であってほしいものですね。

m. t

■理事・監事

役職名	氏名	郵便番号	勤務先/勤務先住所	電話番号/E-mailアドレス
会長	池田 睦	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5664 kaicyo@kagoshima-rt.com
副会長	新村 栄次	892-0852	今給黎総合病院 鹿児島市下竜尾町4-16	099-226-2211 hukukaicyo@kagoshima-rt.com
監事	鮫嶋 宗俊			
監事	西元 広男			
理事 総務	原口 誠	890-0062	JA厚生連健康管理センター 鹿児島市与次郎1-13-1	099-256-1137 iinkai@kagoshima-rt.com
理事 総務	豊田 雅彦	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5664 soumu@kagoshima-rt.com
理事 財務	中島 祐二	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5664 zaimu@kagoshima-rt.com
理事 学術	藤崎 拓郎	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-5664 gakujutsu@kagoshima-rt.com
理事 学術	石本 裕二	892-8512	鹿児島共済会南風病院 鹿児島市長田町14-3	099-224-5682 gakujutsu@kagoshima-rt.com
理事 広報編集	富松 正明	890-0064	鹿児島市医師会病院 鹿児島市鴨池新町7-1	099-254-1125 kouhou@kagoshima-rt.com
理事 表彰	西本 孝市	892-8580	鹿児島市立病院 鹿児島市加治屋町20-17	099-224-2101 hukuri@kagoshima-rt.com
理事 福利厚生	大久保 光男	895-0005	川内市医師会立市民病院 薩摩川内市永利町4107-7	0996-22-1111 hukuri@kagoshima-rt.com

(社) 鹿児島県放射線技師会準会員名簿

名 称	郵便番号	連 絡 先
島津メディカルシステムズ株式会社 鹿児島営業所	891-0113	鹿児島市東谷山 1-33-1 TEL 099-263-3572
(株) 南九州電子サービス	890-0063	鹿児島市鴨池二丁目 15-2 TEL 099-253-7397
株式会社 八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目 29-5 TEL 099-268-0010
(株) 千代田テクノル福岡営業所	812-0035	福岡市博多区中呉服町 1-5 祐徳ビル 1号館 7階 TEL 092-262-2233
アロカ株式会社 鹿児島営業所	890-0082	鹿児島市紫原 5-16-8 TEL 099-252-7007

広 告 掲 載 一 覧

会 社 名	郵便番号	住 所	電話番号
GEヘルスケア・ジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島市与次郎 2-4-35 K S C鴨池ビル 3 F	099-255-0701
アロカ株式会社 鳥栖営業所	841-0048	鳥栖市藤木町 4-5	0942-87-9111
エーザイ株式会社	890-0053	鹿児島市中央町 12-2 明治安田生命西鹿児島ビル 6 F	099-254-9860
株式会社 エス・アール	819-0046	福岡市西区西の丘 2丁目 2-15 エス・アールビル	092-894-3800
株式会社 エルクコーポレーション 鹿児島営業所	891-0122	鹿児島市南栄 5丁目 10番 29号	099-266-3141
株式会社 根本杏林堂 福岡営業所	892-0013	福岡市博多区博多駅東一丁目 14-34 博多 IC ビル 1 F	092-414-7345
株式会社 八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目 29-5	099-268-0010
株式会社 フィデスワン 鹿児島営業所	890-0054	鹿児島市荒田 1-2-9	099-252-3488
株式会社 舞 研	891-0115	鹿児島市東開町 4番 94号	099-266-2501
株式会社 千代田テクノ 福岡営業所	812-0038	福岡県福岡市博多区祇園町 1-28 シグマ博多ビル 2階	092-262-2233
ケアストリームヘルス株式会社 西日本販売促進部 九州エリア担当	812-0016	福岡市博多区博多駅南 1-2-3 K D X博多ビル	092-413-8460
田辺三菱製薬株式会社 鹿児島営業所	890-0053	鹿児島市中央町 9-1 鹿児島中央第一生命ビルディング 8 F	099-251-5151
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町 2番 1号 芙蓉ビル 3 F	099-805-2005
バイエル薬品株式会社 診断薬事業部 九州第二営業所	892-0847	鹿児島市西千石町 11-25	099-805-2536
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	880-0806	宮崎市広島 1丁目 1番 10号	0985-29-8371
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町 17-3 太陽生命鹿児島第2ビル 3 F	099-219-9171
富士フイルムRIファーマ株式会社	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目 1番 1号 富士フイルム福岡ビル	092-263-5310

サーベイメータ・電子ポケット線量計

放射能汚染はないか、放射線のレベルはどのくらいか、どれだけ放射線を受けたか、それらは測定器で見ることができます。目的に応じた、豊富な機器をご用意しております。

線量当量率測定用

ICS-321B

γ-X線用

ICS-323B

γ-X線用 (高線量タイプ)

TCS-172B

γ線用 (高感度タイプ)

PDR-101

γ線用
(ポケットブル高感度タイプ)

TPS-451C

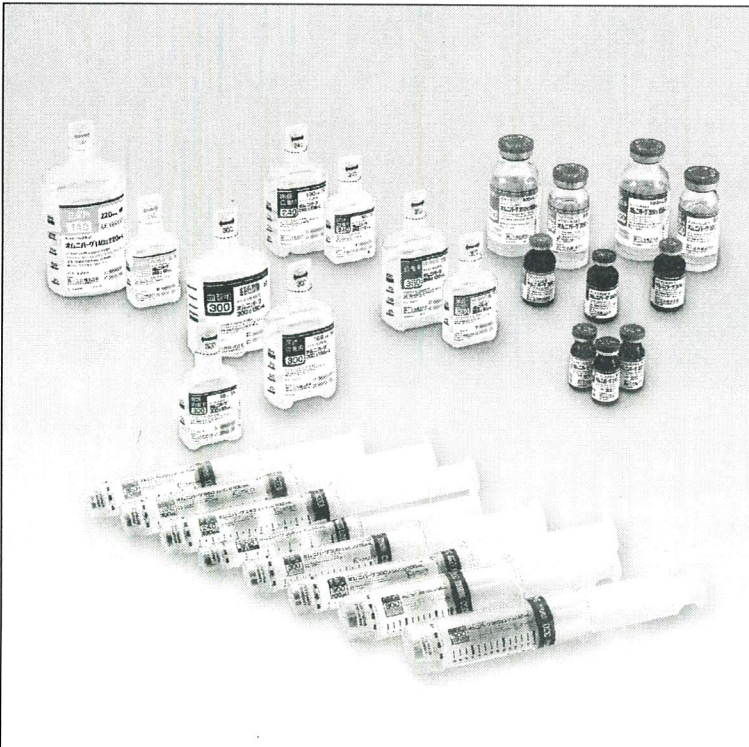
中性子線用

PDM-112

γ-X線用

アロカ株式会社 www.aloka.co.jp

〒181-8622 東京都三鷹市牟礼6丁目22番1号 計測システム営業部 (0422)45-5131



- 140注 (血管用) 50mL、220mL
- 240注 (尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL
- 300注 (尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL (血管用) 150mL
- 350注 (尿路・血管用) 20mL、50mL (血管用) 100mL
- 240注シリンジ (尿路・血管・CT用) 100mL
- 300注シリンジ (尿路・CT用) 50mL (尿路・血管・CT用) 80mL、100mL (CT用) 125mL、150mL
- 350注シリンジ (血管・CT用) 70mL、100mL
- 180注 (脳槽・脊髄用) 10mL
- 240注 (脳槽・脊髄用) 10mL
- 300注 (脊髄用) 10mL



OMNIPAQUE

非イオン性造影剤

処方せん医薬品*

薬価基準収載

オムニパーク®

OMNIPAQUE® イオヘキソール注射液

140注	180注	240注	300注	350注
50mL 220mL	10mL	10mL 20mL 50mL 100mL	10mL 20mL 50mL 100mL 150mL	20mL 50mL 100mL

240注シリンジ	300注シリンジ	350注シリンジ
100mL	50mL 80mL 100mL 125mL 150mL	70mL 100mL

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。



Daiichi-Sankyo

製造販売元 (資料請求先)

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

おもいやりをたしかに



株式会社

八郷医療器

〒891-0114 鹿児島市小松原一丁目29-5
TEL 099-268-0010
FAX 099-267-7790

つながる医療

さらなる連携のステージへ

地域医療連携システム

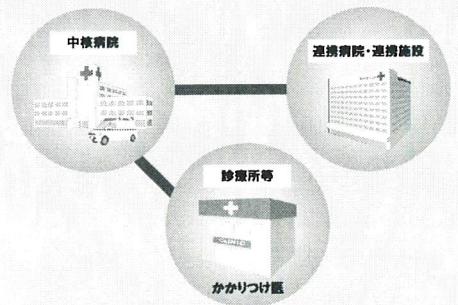
病病連携・病診連携・中核施設内ネットワーク

診療情報提供書 検査予約/情報閲覧

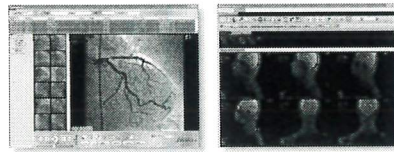
地域連携クリニカルパス 報告 逆紹介

院内ネットワーク～紹介管理・文書管理・退院支援・医療相談

病病連携、病診連携に加え、中核施設内の院内ネットワークも充実。集計/統計機能も備え、地域医療連携の様々な業務運営をサポートします。



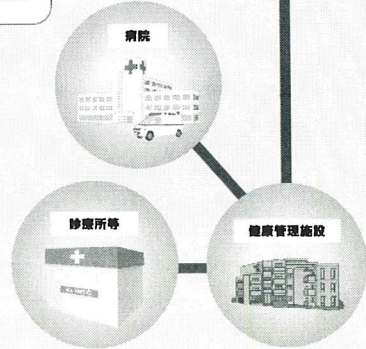
Nahri AQUA Nahri Ocean



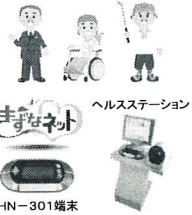
健康管理見守りシステム

早期発見 予防医療 健康管理

日々のバイタルデータを管理することで、心疾患や高血圧などを早期発見したり、病気になる前に予防を行えるよう、地域の健康管理をするためのシステムです。
また、メッセージ配信などの機能を活用することにより、地域の中で人々の生活を見守りサポートします。



<様々なご利用者>



<最新のラインナップ> 放射線情報システム(RIS) 検像システム

用途に応じて様々な製品をご用意しています。
お気軽にお問い合わせ下さい。



MEHERGEN GROUP

Fides-ONE

株式会社 フィデワン
福岡本社 福岡市博多区美野島3-17-27-1 2F
Tel 092-436-3022 Fax 092-436-3023

Nexis

株式会社 ネクス
福岡本社 福岡市博多区美野島3-17-27-1 3F
Tel 092-436-5670 Fax 092-436-2556

MID

株式会社 エムアイディ
本社 福岡市博多区美野島3-17-27-1 3F
Tel 092-436-2555 Fax 092-436-2556

Parama-Tech

UNEXT

nihon
medi+physics


for the happiness



明日の幸せを願い、「診る」そして「治す」核医学。

私たちは、がんや心臓病、脳血管疾患および認知症などの早期発見に役立つSPECT・PET検査用放射性医薬品や、がん治療用の医療機器、疼痛緩和に有効な治療薬などの創出を通じ、これからも皆様の健康に貢献します。

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 TEL (03)5634-7006(代)
<http://www.nmp.co.jp/>

 日本メジフィジックス株式会社

2009年8月作成



非イオン性尿路・血管造影剤

薬価基準収載

プロスコブ® 300注シリンジ 50mL・80mL・100mL

PROSCOPE® 300 Syringe 50mL・80mL・100mL (イオプロミド注射液)

処方せん医薬品 (注意・医師等の処方せんにより使用すること)

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

提携
バイエル・シエーリング・ファーマ社
(ドイツ連邦共和国)



製造販売元(資料請求先)
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区北浜2-6-18

2009年10月作成

GE Healthcare

Healthcare Re-imagined.

より早く、正確に。想像力の先にひろがるEarly Health。

想像を、実像に。いよいよその時がやってきました。

診療の原点を見つめ、私たちが探ってきたEarly Healthの可能性はより具体的なアイデアを包み込んだ種子となり、あらゆる分野へ飛び立とうとしています。患者さまのために、利用される皆さまのために、さらにはすべての人がよりよい診療サービスをいち早く享受するために、画像診断技術はいかにあるべきか？診療世界の次の10年を、より実りあるものとするために、これまで超えられなかった壁を軽やかに飛び越え、理想形へと着床します。

Re-imagine・・・それは、診療のよりよい未来に、答えを出しつづけること。

GEヘルスケア・ジャパン
カスタマー・コールセンター 0120-202-021
www.gehealthcare.co.jp



GE imagination at work

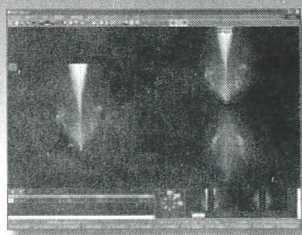


マンモグラフィ検査の最適な フィルムレス運用をご提案します

マンモグラフィ 専用画像診断ワークステーション マーマリー

mammary

マンモグラフィ画像診断ワークステーション マーマリー



- マンモグラフィ専用の数々の機能を標準装備しています
- 読影スタイルに応じたプロトコルを読影者ごとに設定可能です
- ダブルリーディングに対応した所見レポートを準備しています

製造販売元: 株式会社 クライムメディカルシステムズ
大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号 千里ライフサイエンスセンタービル10階
販売名: 「画像診断ワークステーションCIF-391」 薬事承認番号「21700BZZ00359000」

株式会社 エルクコーポレーション

営業統括本部

摂津市庄屋1丁目14番12号

☎ (06) 6382-7009

東京都文京区湯島2丁目17番4号

☎ (03) 3814-8229

本社・大阪府中央区農人橋1丁目1番22号 大江ビル9階 [URL http://www.elkc.co.jp](http://www.elkc.co.jp)



●商品に関するお問い合わせは下記まで

札幌(011)736-0010・仙台(022)236-3621・新潟(025)243-6391・さいたま(048)663-2221
東京第一(03)3814-7851・東京第二(03)3814-7850・横浜(045)474-6661・名古屋(052)531-6231
金沢(076)237-7511・京都(075)691-5101・大阪第一(06)6382-3787・大阪第二(06)6382-8701
神戸(078)651-2601・岡山(086)232-6721・広島(082)232-1341・福岡(092)472-0241
鹿児島(099)266-3141

当社は、作業環境測定機関の登録を平成21年1月27日に行いました。
RI施設作業環境測定においても、質の高いサポートを提供いたします。

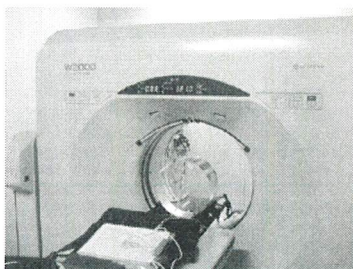
放射線測定・遮へい計算 届出業務のご案内

事業内容

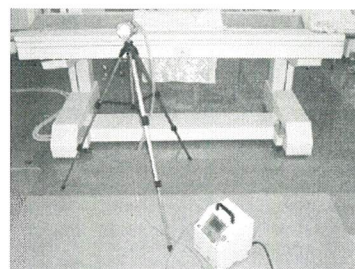
- 漏洩線量、室内散乱線測定
- RI施設作業環境測定
- 被ばく線量測定(CTDI、アンギオ等)
- 関係官庁への申請書類作成についての事務代行
- 遮へい計算の作成
- X線防護工事

有資格者

- 第1種作業環境測定士 4名
- 第1種放射線取扱主任者 4名
- 第2種放射線取扱主任者 3名
- X線作業主任者 13名



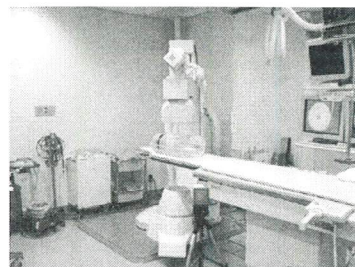
被ばく線量測定



RI作業環境測定



漏洩線量測定



室内散乱線測定

ISO 9001 認証取得



株式会社 **イス・アール**

作業環境測定機関(福岡労働局 登録番号40-43)
福岡市西区西の丘2丁目2-15 エス・アールビル
TEL 092-894-3800 FAX 092-894-3801

作業環境測定サービス

作業環境測定機関(登録番号08-29)

非密封の放射性同位元素を取り扱う事業所では、その事業所の『作業環境測定士』が行うか『作業環境測定機関』に委託して、1ヶ月以内ごとに1回作業場所の空气中放射能濃度を測定しなければならないこととなっています。

放射性同位元素等の環境測定に、高い技術力と信頼できるデータを提供する、千代田テクノルの作業環境測定サービスをぜひご利用ください。

- ◇ 空气中放射性物質濃度測定
- ◇ 表面汚染密度測定
- ◇ 空間線量測定
- ◇ 水中放射性物質濃度測定

作業環境に対する考え方…どの段階ですか？

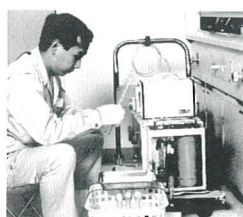
- 労働衛生管理は企業経営の必須条件だから
- 作業環境管理は品質管理と同様にTQCの一つと考えられ、経営上積極的なメリットがあるから
- 法律によって義務づけられているから



測定作業



空間線量測定



空气中放射性物質サンプリング



CHIYODA TECHNOL CORPORATION

株式会社 **千代田テクノル** 営業部

〒113-8681 東京都文京区湯島1-7-12 千代田御茶の水ビル
TEL03(3816)1163
www.c-technol.co.jp

BUKEN

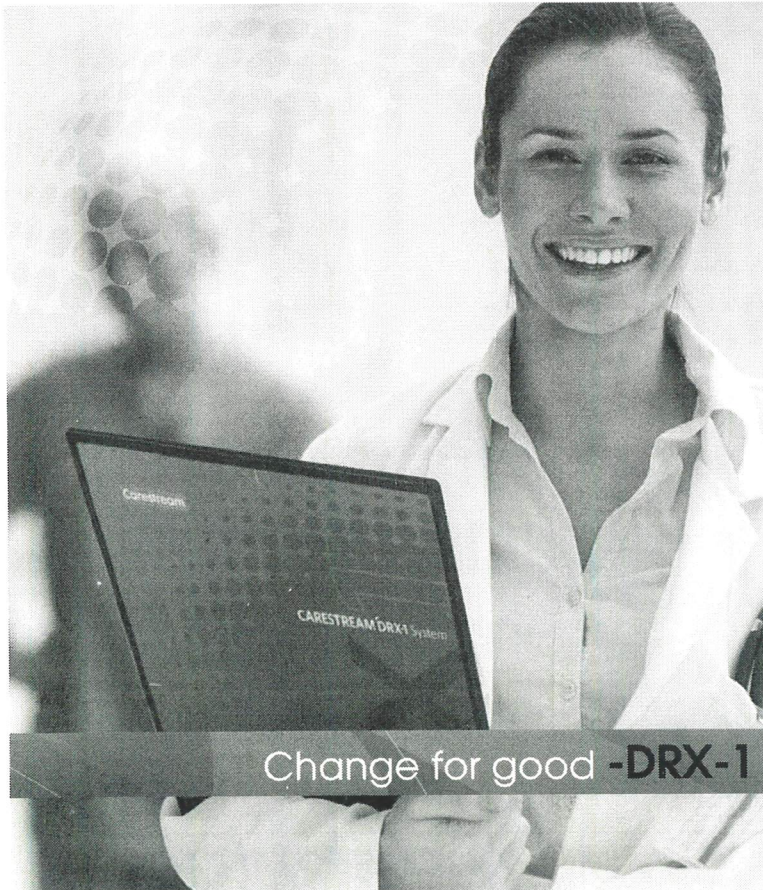
www.buken.co.jp

株式会社 舞 研

〒891-0115 鹿児島市東開町4-94 TEL 099-266-2501
FAX 099-266-2601

sound,lighting,visual,art

株式会社 熊本舞研 株式会社 宮崎舞研



Change for good -DRX-1

Wireless, Smart Operation

DR化への効率的なソリューション。
すべての理想型がここに誕生しました。

世界初のカセットDR、DRX-1 System誕生。

35x43cmの半切カセットと同じサイズなので、お持ちのカセットを交換するだけで簡単にDR化を可能にするCarestream DRX-1 System。ワイヤレスのため様々なポジショニングが楽にでき、画像データはすばやくそのまま無線で転送。スピーディー且つ効率的なソリューションがここに登場しました。



世界初のカセットサイズDR



既設のスタンド・ブッキー台に
差し込むだけで、DRシステムへ



効率的なワークフローを
実現するワイヤレス運用



ケアストリームヘルス株式会社

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-21-6 八丁堀NFビル ☎(03)5540-2260
札幌 ☎(011)252-8072 名古屋 ☎(0561)64-2755 大阪 ☎(06)6534-7090 福岡 ☎(092)413-8460
ホームページ <http://www.carestreamhealth.jp>

Carestream 
HEALTH

lomeron®

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤

【薬価基準収載】

イオメロン® 300 注 20mL/50mL/100mL
350 注 20mL/50mL/100mL
400 注 20mL/50mL/100mL

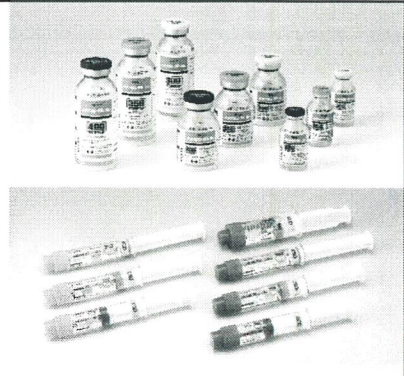
〈イオメプロール注射液〉

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤

【薬価基準収載】

イオメロン® 300 注 シリンジ 50mL/75mL/100mL
350 注 シリンジ 50mL/75mL/100mL/135mL

〈イオメプロール注射液〉



処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性MRI用造影剤

【薬価基準収載】

プロハンス® 静注 5mL/10mL/15mL/20mL

〈ガドテリドール注射液〉

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤

【薬価基準収載】

プロハンス® 静注シリンジ 13mL/17mL

〈ガドテリドール注射液〉

ProHance®

● 効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



製造販売元

ブラッコ・エーザイ株式会社
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6



販売元

エーザイ株式会社
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>



提携先

ブラッコ インターナショナル

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン ☎0120-419-497 9～18時（土、日、祝日 9～17時）

CM1004M02

Nemoto

The Ultimate Dual Injector

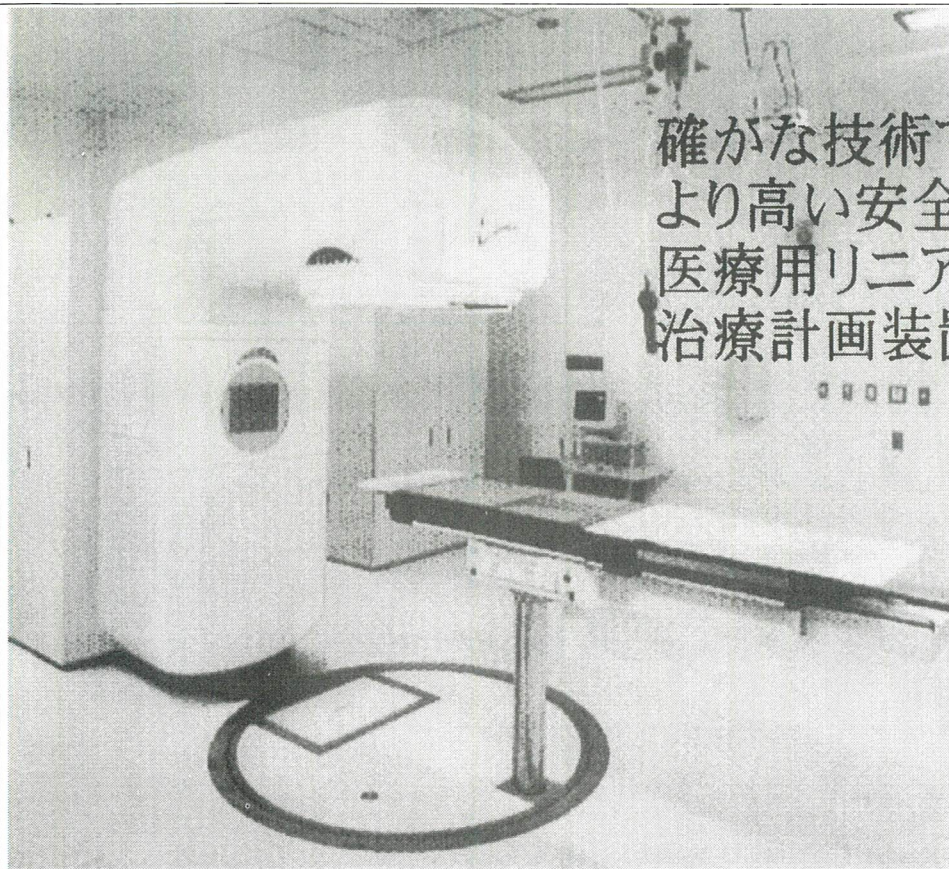
NEW

最適な造影検査への答え
DUAL SHOT GX V 誕生

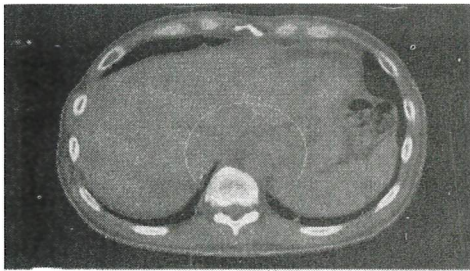


DUAL SHOT® GX V^{faiv}
Contrast Delivery System

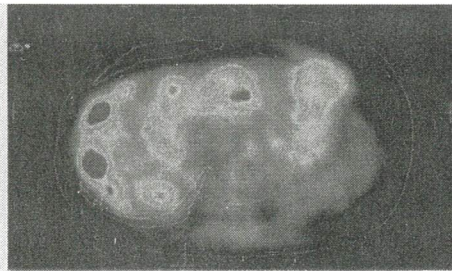
株式会社 根本杏林堂
東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541
<http://www.nemoto-do.co.jp>



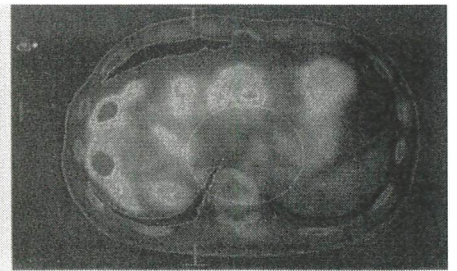
確かな技術で
より高い安全性をめざして
医療用リニアック、
治療計画装置をサポートします



CT画像



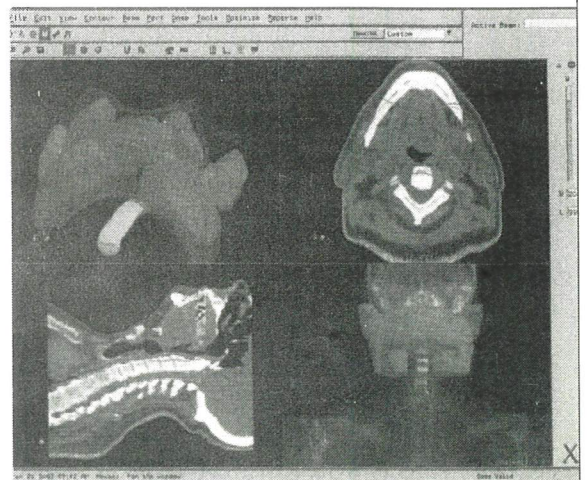
PET画像



PET/CTフュージョン像

高度な機能と満足をご提供します

- 治療装置システムのご提案
- 保守点検、メンテナンス

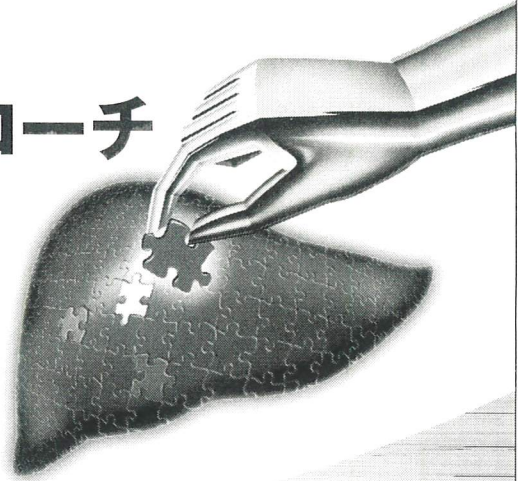


南九州電子サービス株式会社
<http://bizwin.biz/mqds.php?&blogid=27>

本社 宮崎市広島1丁目1-10 TEL0985-29-8371
鹿児島 鹿児島市鴨池2丁目15-2 TEL099-253-7397

FUJIFILM

肝転移診断における SPIO製剤によるアプローチ



処方せん医薬品[※]
MRI用肝臓造影剤 フェルカルボトラン注射液

リゾビスト[®] 注

Resovist[®] Inj. 〈薬価基準収載〉
注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

(1) 本剤の成分又は鉄注射剤に対し過敏症の既往歴のある患者 (2) 一般状態の極度に悪い患者 (3) ヘモクロマトーシス等鉄過剰症の患者 [本剤の鉄により症状が悪化するおそれがある] (4) 出血している患者 [出血症状を悪化させるおそれがある]

効能・効果 磁気共鳴コンピューター断層撮影における肝腫瘍の局在診断のための肝臓造影

用法・用量 通常、成人には、本剤0.016mL/kg(鉄として0.45mg/kg=8μmol/kg)を静脈内投与する。ただし、投与量は1.4mLまでとする。過剰量の投与あるいは追加投与はしないこと。

使用上の注意 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

(1) 本人又は両親、兄弟に気管支喘息、発疹、蕁麻疹等のアレルギーを起こしやすい体質を有する患者 (2) 薬物過敏症の既往歴のある患者 (3) 貧血治療のため鉄剤を投与している患者 [鉄過剰症を起こすおそれがある] (4) 出血傾向のある患者 (抗血小板剤、血液凝固阻止剤等を投与中の患者を含む) [出血傾向を増強するおそれがある] (5) 発作性夜間血色素尿症の患者 [溶血を誘発するおそれがある]

2. 重要な基本的注意

(1) ショック、アナフィラキシー様症状等が発現することがあるので、救急処置の準備を行うとともに、本剤の投与後も患者の状態を十分に観察すること。(2) 外来患者に使用する場合には、本剤投与開始より1時間~数日後にも遅発性副作用の発現の可能性があることを患者に説明した上で、頭痛、倦怠感、発疹、蕁麻疹、下肢のしびれ、冷汗、血圧上昇、腰痛、胸膜刺激症状、鼻出血、発熱等の本剤の副作用と思われる症状が発現した場合には、速やかに主治医に連絡するように指示するなど適切な対応をとること。(3) 投与にあたっては、アレルギー体質などについて十分な問診を行うこと。(4) 本剤投与後に血清フェリチンの上昇及び肝MR信号低下の持続がみられるので、再度投与してMRI検査を行う場合には、前回の投与より3週間以上経過してから行うこと(本剤の再度投与の使用経験はない)。(【薬物動態】の2. 肝信号の推移の項参照)注1

他院からの紹介患者あるいは転院患者で本剤による検査を行う場合には、必要に応じ、本剤あるいは類薬の前回投与歴を問診、医療機関への問い合わせにより確認すること。

注1. 【薬物動態】につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

3. 副作用

本剤0.008~0.032mL/kg(鉄として4~16μmol/kg=0.22~0.89mg/kg)を投与した総症例542例中15例(2.8%)に副作用が認められ、発現した副作用は鼻出血、熱感、倦怠感各2件(0.4%)、発疹、発赤、痒痒感、蕁麻疹、嘔気、後頭部痛、灼熱感、頭痛、手のしびれ、下肢のしびれ、冷汗、血圧上昇、腰痛、背部痛、胸膜刺激症状各1件(0.2%)であった。15例中、投与1時間以降に発現した遅発性副作用は8例で、症状は鼻出血、倦怠感各2件、発疹、蕁麻疹、頭痛、下肢のしびれ、冷汗、腰痛、胸膜刺激症状各1件であった。(承認時)

(1) 重大な副作用

ショック、アナフィラキシー様症状(頻度不明): ショック、アナフィラキシー様症状(呼吸困難、顔面浮腫、発赤等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、必要に応じ適切な処置を行うこと。

8. 適用上の注意(抜粋)

(1) 投与経路: 本剤は静脈内投与にのみ使用し、添付のフィルター(孔径5μm)を必ず接続して投与すること。

●その他の使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

販売元

富士フイルム RIファーマ株式会社

資料請求先: 〒104-0031 東京都中央区京橋1-17-10 内田洋行京橋ビル TEL 03(5250)2620
ホームページ: <http://fri.fujifilm.co.jp>

製造販売元(輸入)

アイロム製薬株式会社

神奈川県横浜市旭町四丁目18番29号

2010年4月作成

lopamiron[®]
lopamidol



処方せん医薬品^注 非イオン性尿路・血管造影剤（イオパミドール注射液）
注）注意-医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載

イオパミロン[®]注

150

300

370

300 シリンジ

370 シリンジ

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

本剤の商標は  イタリアの許諾に基づく

資料請求先
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://www.bayer.co.jp/byl>



Bayer HealthCare
Bayer Schering Pharma

(2010年3月作成)

IOP-10-4001

